

**日進市福祉コミュニティ意識調査
報告書**

2019年10月

1. 調査の概要

(1) 調査主体

この調査は、日進市役所健康福祉部地域福祉課および愛知学院大学政策科学研究所が、社会福祉法人日進市社会福祉協議会の協力のもと実施した。

(2) 調査目的

日進市民が安心して長く住み続けることができる地域にするために、地域における助け合いや福祉活動、周辺の居住環境の実態を明らかにし、どのような政策や行政サービスが求められるのかを検討することを目的としている。

(3) 調査対象および抽出方法

- 日進市内の世帯主(18歳以上)
- 2,500世帯(=25地区×100世帯)
- 25地区の地区割りは以下の通り
赤池、赤池町、赤池南、浅田町、浅田平子、岩崎台、岩崎町、岩藤町、梅森台、梅森町、折戸町、香久山、蟹甲町・野方町・本郷町、北新町、米野木台、米野木町、五色園、栄、三本木町、竹の山、東山、藤枝町、藤島町、藤塚、南ヶ丘
- 各地区100世帯を、系統抽出法による無作為抽出

(4) 調査方法

郵送法によるアンケート調査

(5) 調査時期

令和元年6月5日～17日

(6) 回収状況

有効発送数	2,474票
有効回収数	990票
回収率	40.0%

地区ごとの回収状況

地区名	有効回収数	有効発送数	回収率	世帯数	ウェイト値
赤池	34	98	34.7%	1,822	1.44
赤池町	36	100	36.0%	1,482	1.11
赤池南	45	99	45.5%	739	0.44
浅田町	38	99	38.4%	2,120	1.50
浅田平子	30	98	30.6%	1,023	0.92
岩崎台	31	97	32.0%	2,346	2.04
岩崎町	45	99	45.5%	3,816	2.29
岩藤町	48	100	48.0%	418	0.23
梅森台	40	99	40.4%	1,228	0.83
梅森町	40	98	40.8%	883	0.60
折戸町	40	100	40.0%	1,087	0.73
香久山	44	100	44.0%	2,647	1.62
蟹甲町・野方町・本郷町	37	99	37.4%	573	0.42
北新町	38	99	38.4%	473	0.34
米野木台	32	100	32.0%	1,873	1.58
米野木町	49	97	50.5%	1,669	0.92
五色園	52	99	52.5%	1,578	0.82
栄	42	97	43.3%	2,949	1.89
三本木町	19	99	19.2%	577	0.82
竹の山	18	100	18.0%	1,763	2.64
東山	44	100	44.0%	1,566	0.96
藤枝町	46	99	46.5%	697	0.41
藤島町	41	99	41.4%	608	0.40
藤塚	42	100	42.0%	2,039	1.31
南ヶ丘	54	99	54.5%	744	0.37
NA	5	-	-	-	-
合計	990	2,474	40.0%	36,720	1.00

※ウェイト値 = 地区世帯数 ÷ 地区回収数 × (総回収数 ÷ 総世帯数)

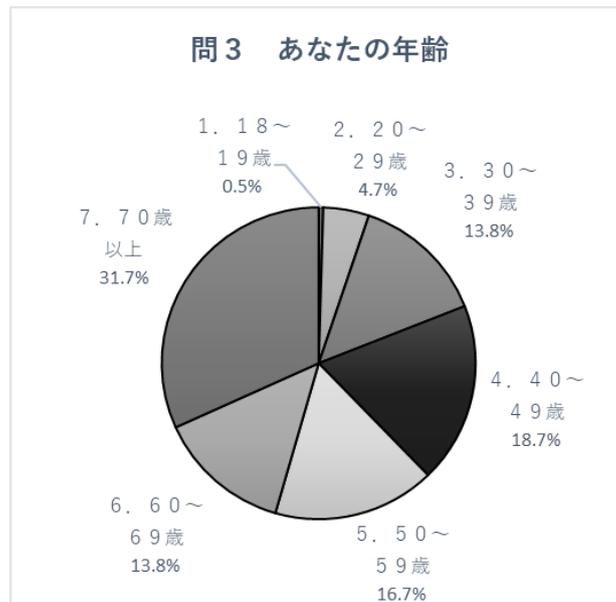
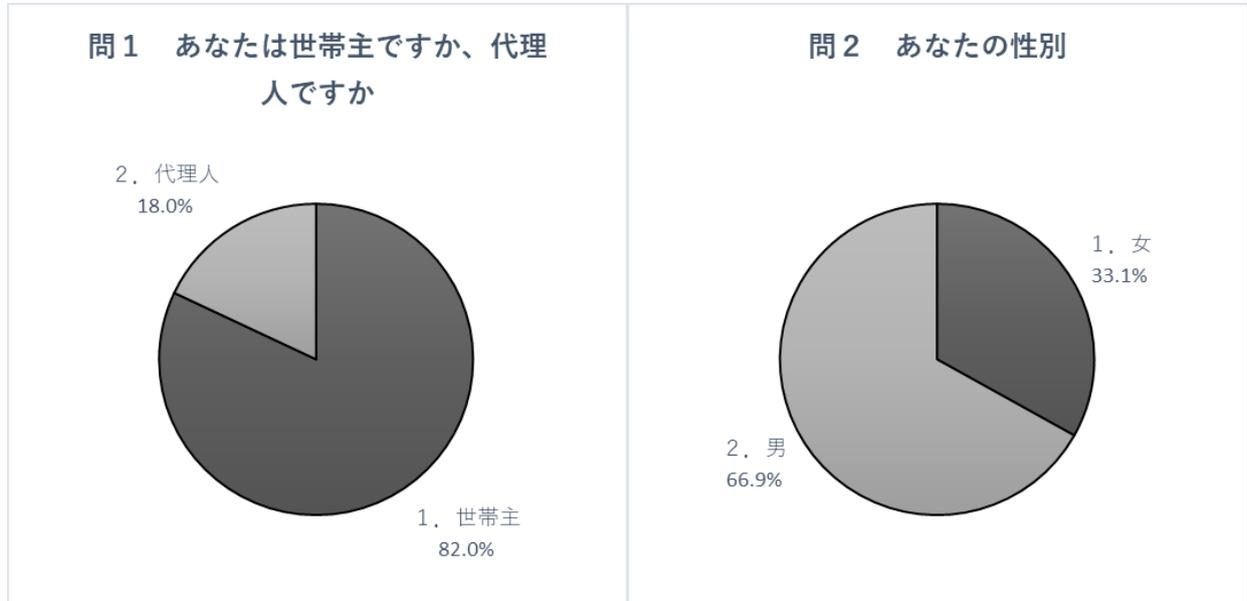
(7)集計方法

この調査では、地区ごとに100世帯ずつ抽出しており、各地区の標本抽出確率が異なっている。そのため、ウェイトバック集計という方法で、世帯数の多い地区の影響度合いが大きくなるように集計している。各設問への回答に対して地区ごとに前述のウェイト値を掛け、全体を合計することで集計値の補正を行っている。

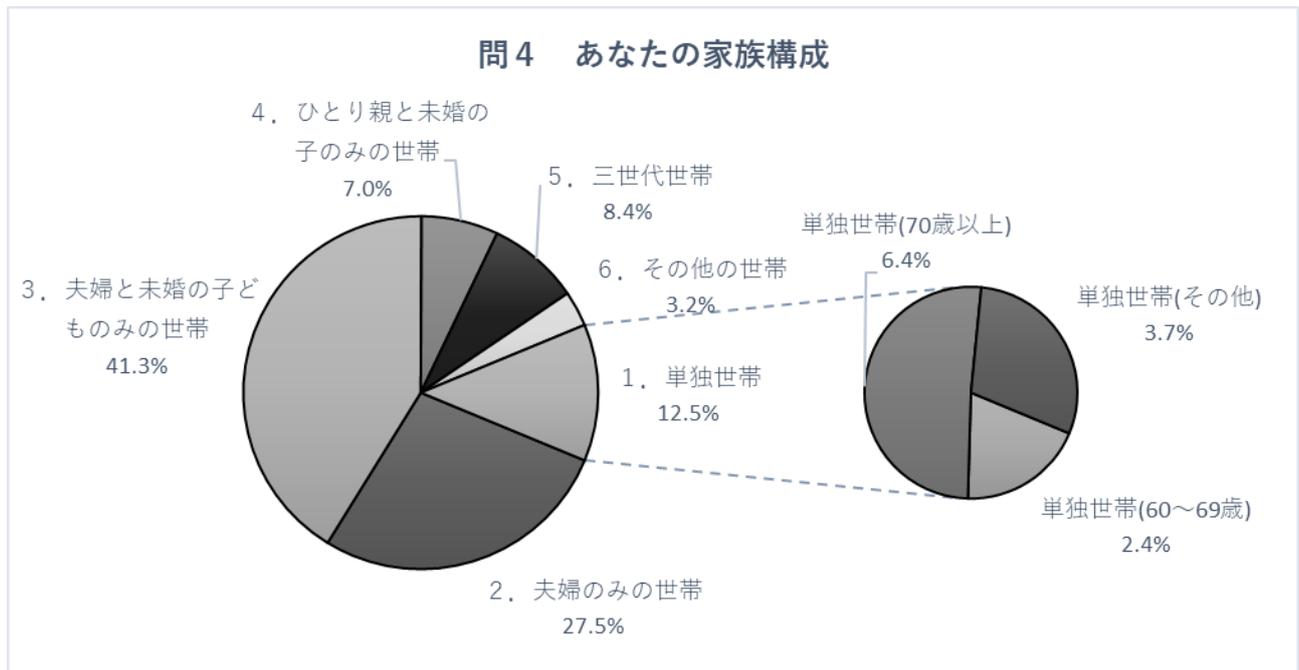
2. 調査結果

(1) 回答者および世帯について

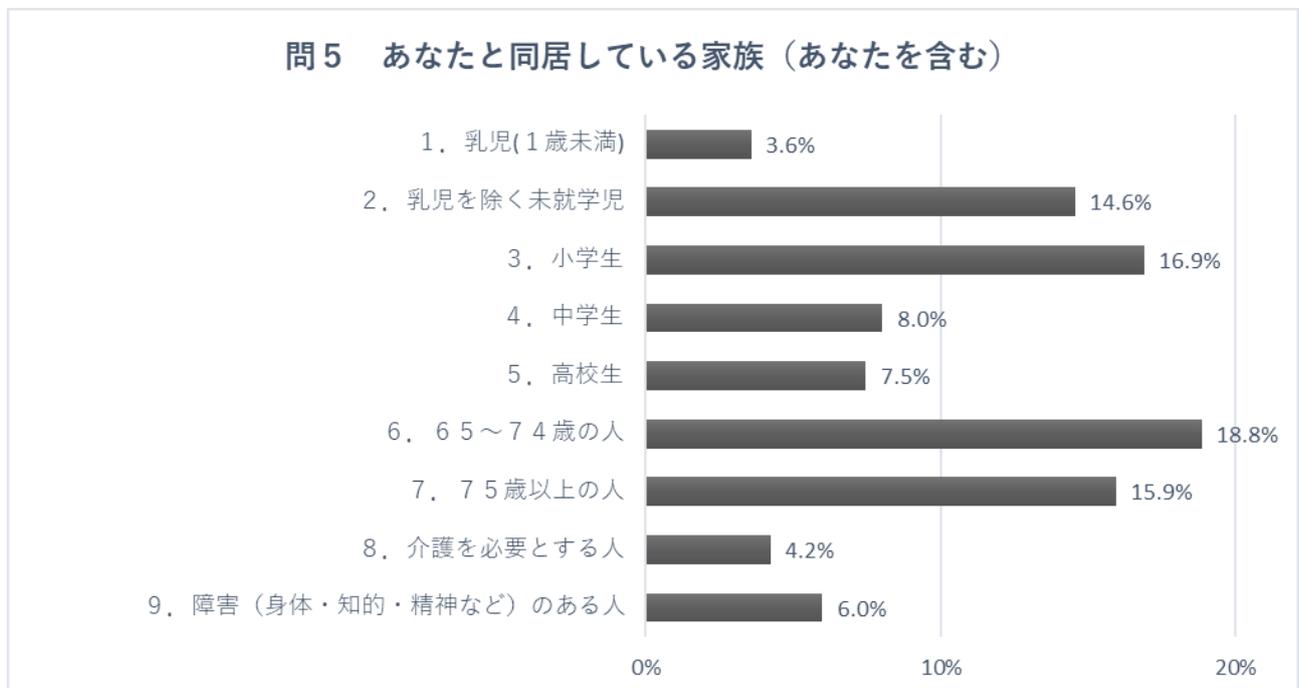
本調査は世帯主またはその代理人を対象に回答してもらっているが、世帯主が8割以上回答し、代理人の場合のほとんどは配偶者(妻)となっている。また、回答者の性別は女性が約3分の1、男性が3分の2となっている。年齢層別では70歳代が最も多く約3割を占め、次いで40歳代、50歳代がそれぞれ2割弱となっている。



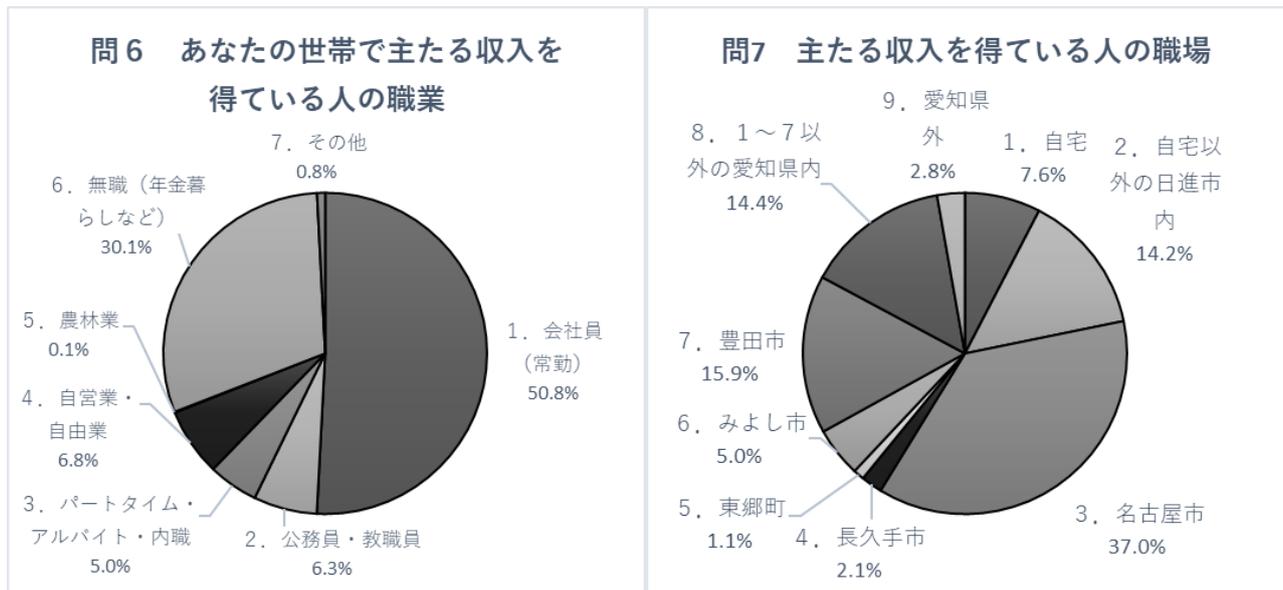
家族構成では、「夫婦と未婚の子どものみ」といういわゆる核家族が4割以上を占め、次いで「夫婦のみの世帯」となっている。一方で「単独世帯」と「三世代世帯」はそれぞれ1割程度となっている。単独世帯の過半数は70歳以上の高齢者である。



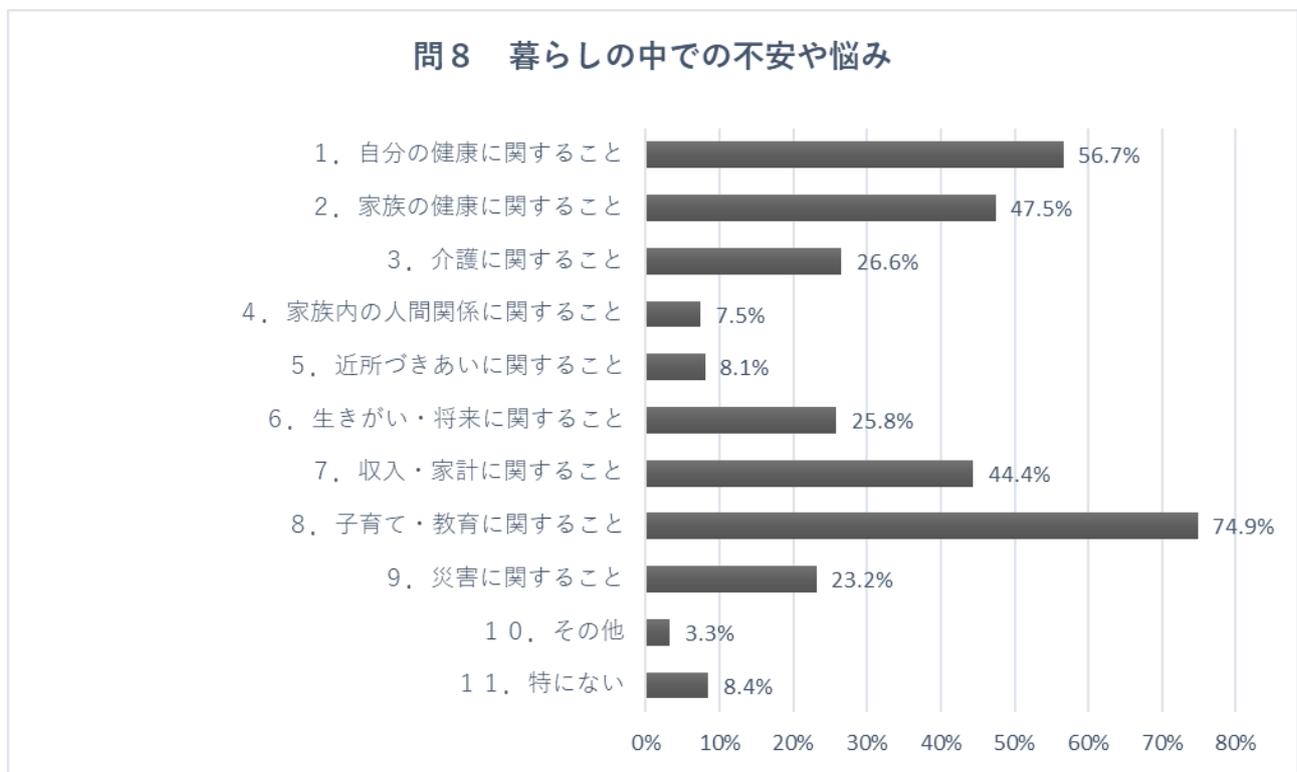
同居している家族の状況を聞いたところ、前期高齢者のいる家庭が2割弱、小学生、後期高齢者、就学前児童のいる世帯は約6分の1となっている。



主たる収入を得ている人の職業は半数以上が常勤の会社員で、次いで無職(年金暮らしなど)が約3割となっている。その方の職場は名古屋市が最も多く4割弱、自宅をあわせた日進市内が約2割、豊田市が2割弱となっている。

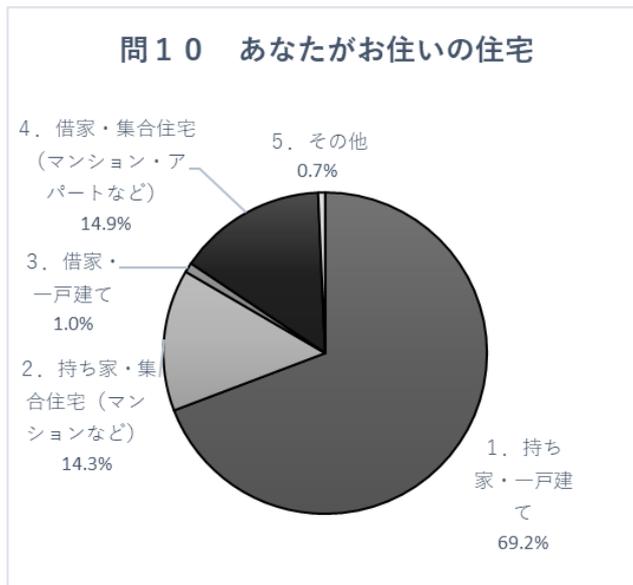


ふだんの暮らしの中での不安や悩みについて聞いたところ、約4分の3が「子育て・教育に関すること」をあげ、過半数の方が「自分の健康に関すること」とした。また、4割以上の方が、「家族の健康に関すること」、「収入や家計に関すること」を悩みにもっている。

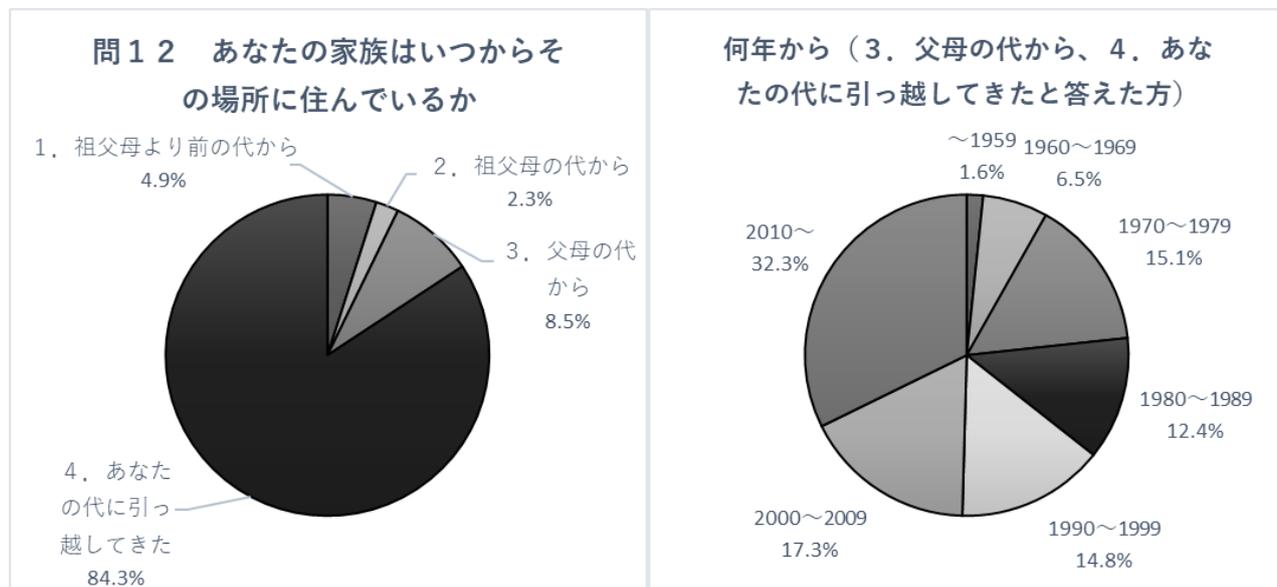


(2) 住まいについて

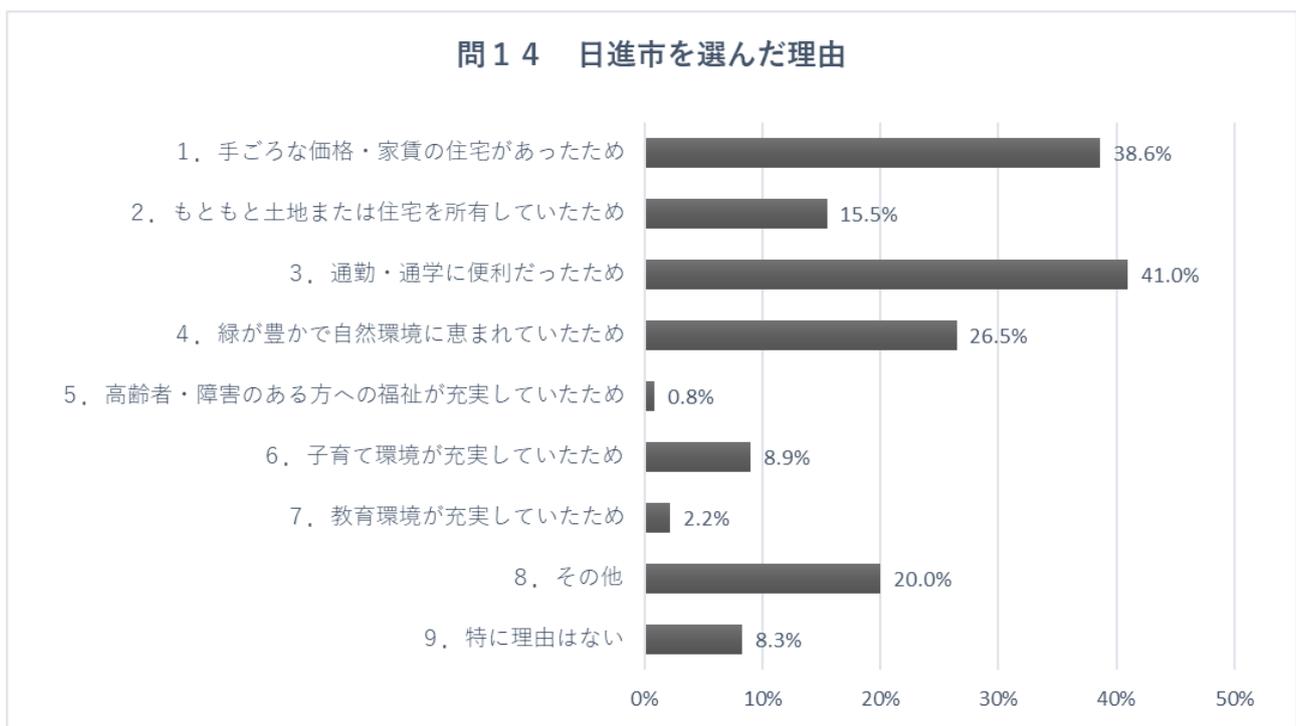
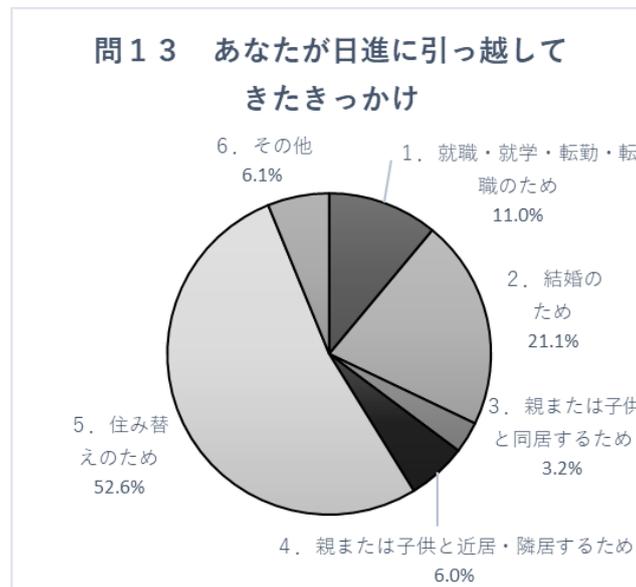
どのような建物に住んでいるか住居形態を聞いたところ、約7割が「持ち家・一戸建て」であった。このことから仮住まいではなく、定住を目的として日進で暮らし始めた人が多いと考えられる。



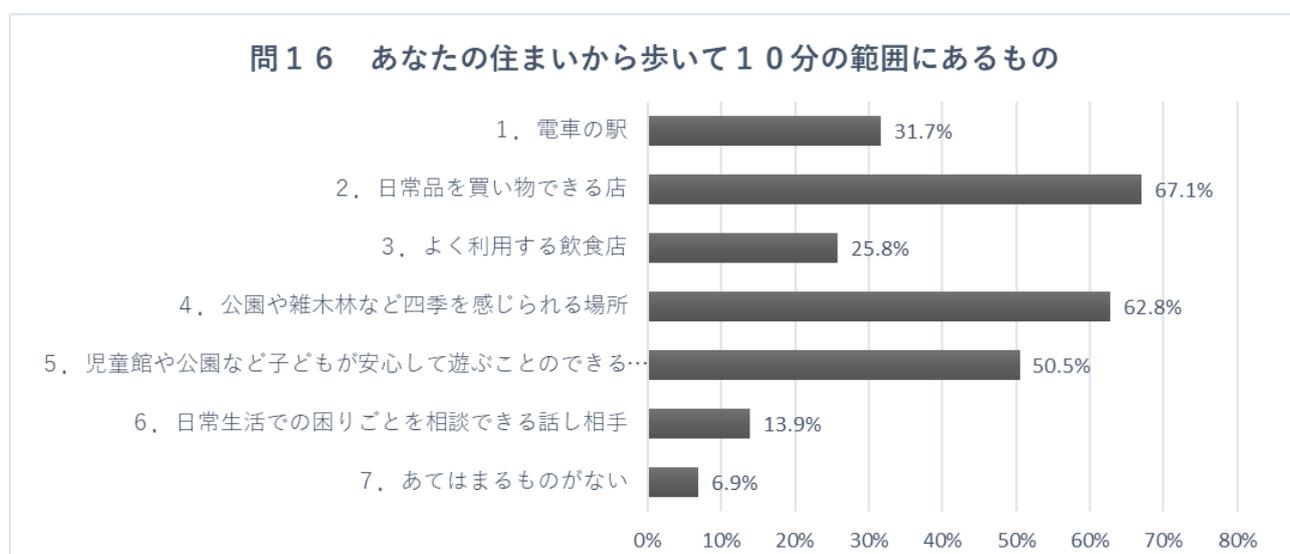
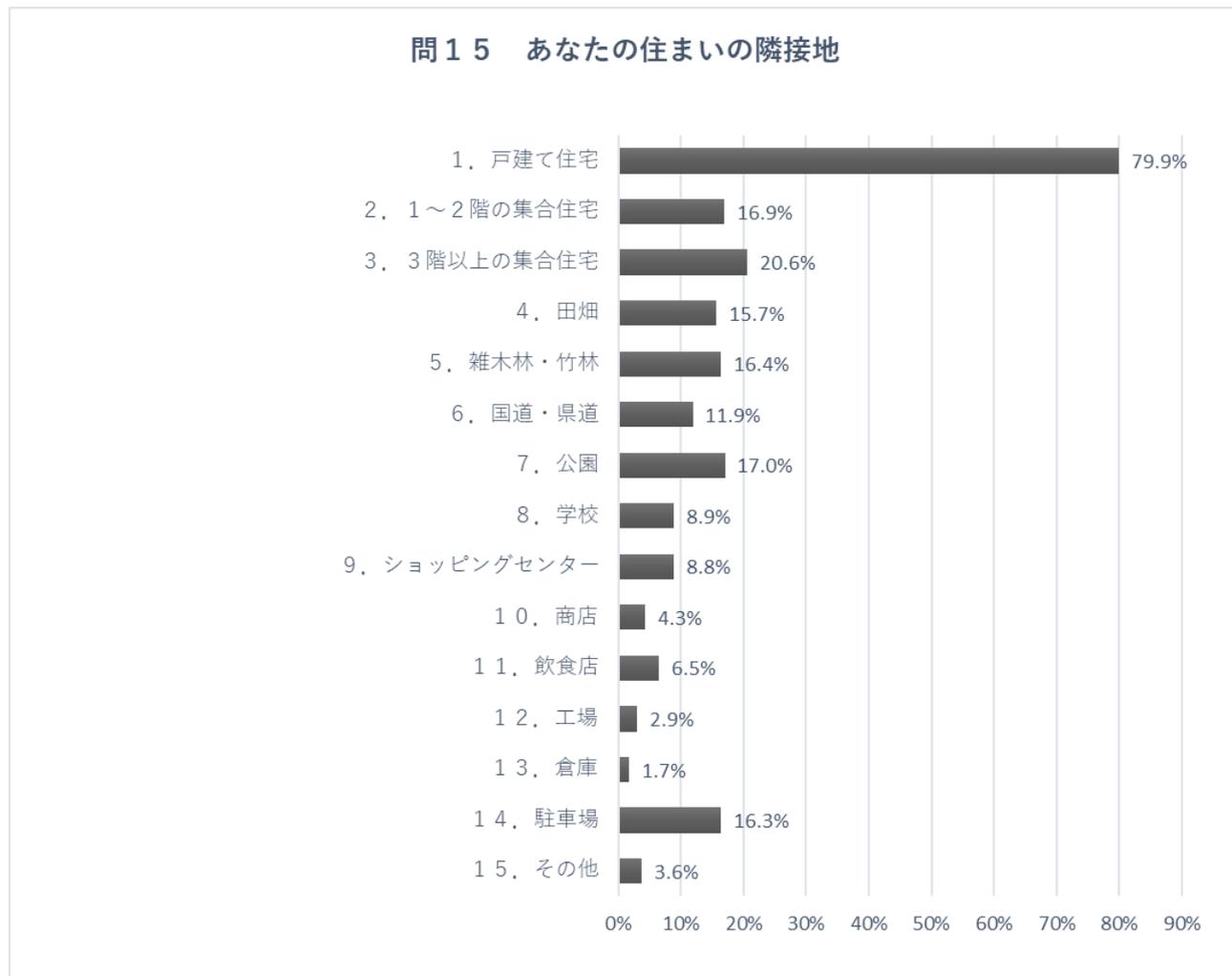
いつからそこに住んでいるか聞いたところ、自分の代からが8割以上で、2000年以降に住み始めた方が約半数であった。このことから多くの世帯は居住暦が浅いことがわかる。



日進に転居したきっかけも過半数が住み替えとなっており、日進を選んで持ち家を取得した人が多いことがわかる。また、日進を選んだ理由を聞いたところ、4割前後の人が、「手ごろな価格・家賃の住宅があった」、「通勤・通学に便利」と回答した。次いで、「緑が豊かで自然環境に恵まれていた」、「もともと土地または住宅を所有していた」となった。

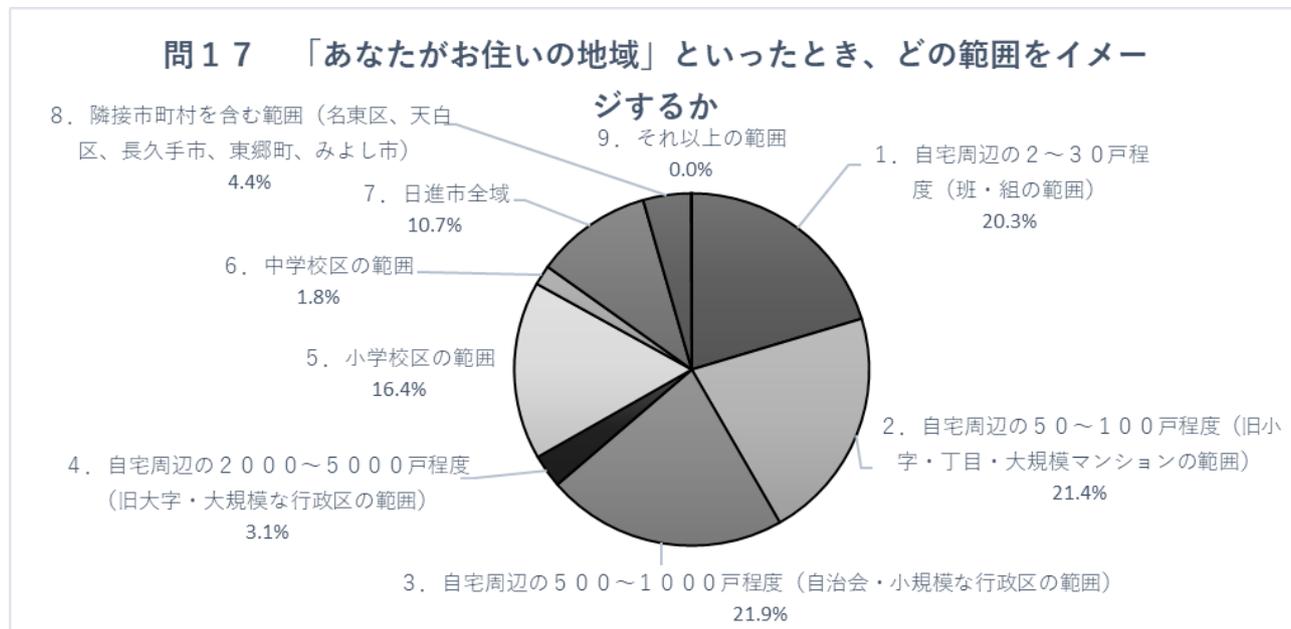


住宅周辺の環境として、隣接地の状況を聞いたところ、約8割が戸建て住宅で比較的良好な住環境が保たれていると考えられる。また、徒歩圏の環境については、「日用品を買い物できる店」が7割弱、「公園や雑木林など四季を感じられる場所」が6割超と多く、自然環境の豊かさが身近にあり、生活利便性が高いことがうかがえる。一方で、「日常生活での困りごとを相談ができる話し相手」が近くにいる人は少なく人間関係面での不安が残る。

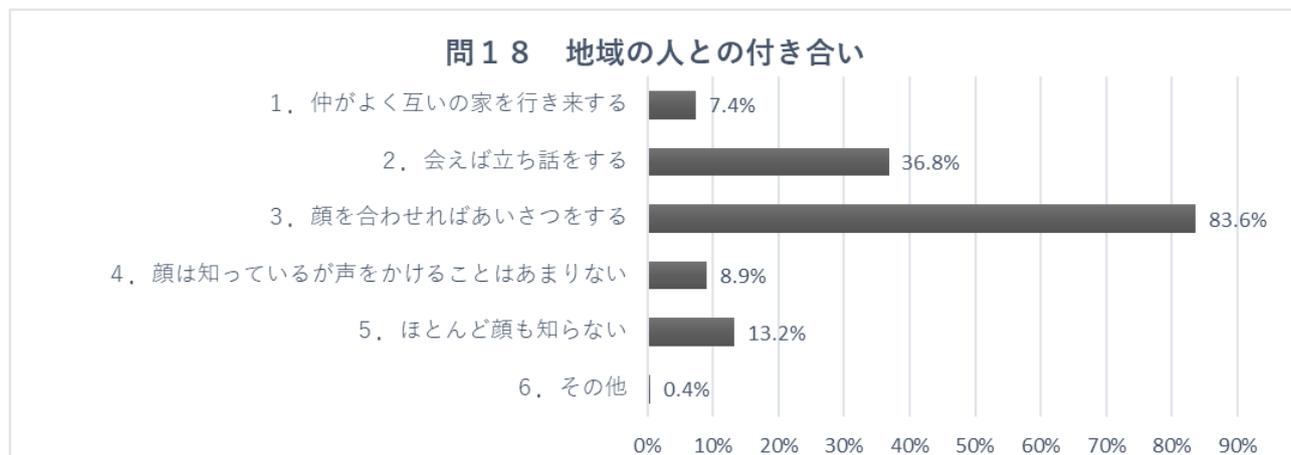


(3) 地域について

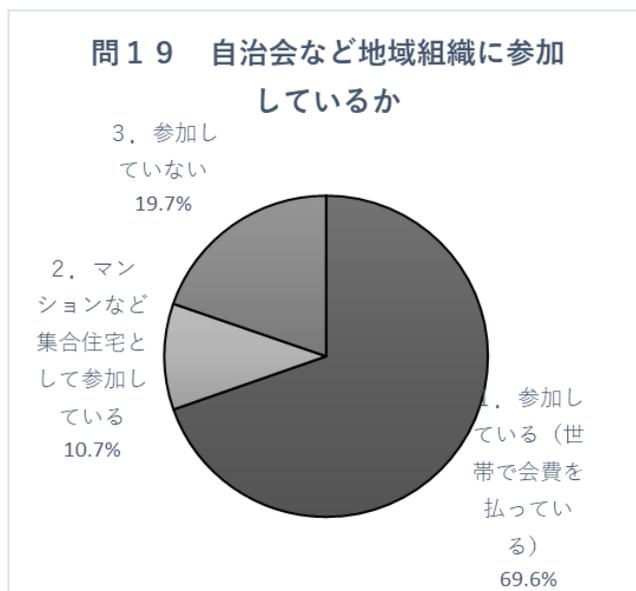
自分の地域をどの範囲でイメージしているかを聞いたところ、「自宅周辺の500～1000戸程度」、「自宅周辺の50～100戸程度」、「自宅周辺の2～30戸程度」がそれぞれ約2割と、地域コミュニティ組織のある比較的小さい範囲を自地域と認識していた。一方で、「小学校区の範囲」は6分の1程度、「日進市全域」は約1割の人が認識しており、コミュニティ意識が希薄になりつつあることがうかがえる。



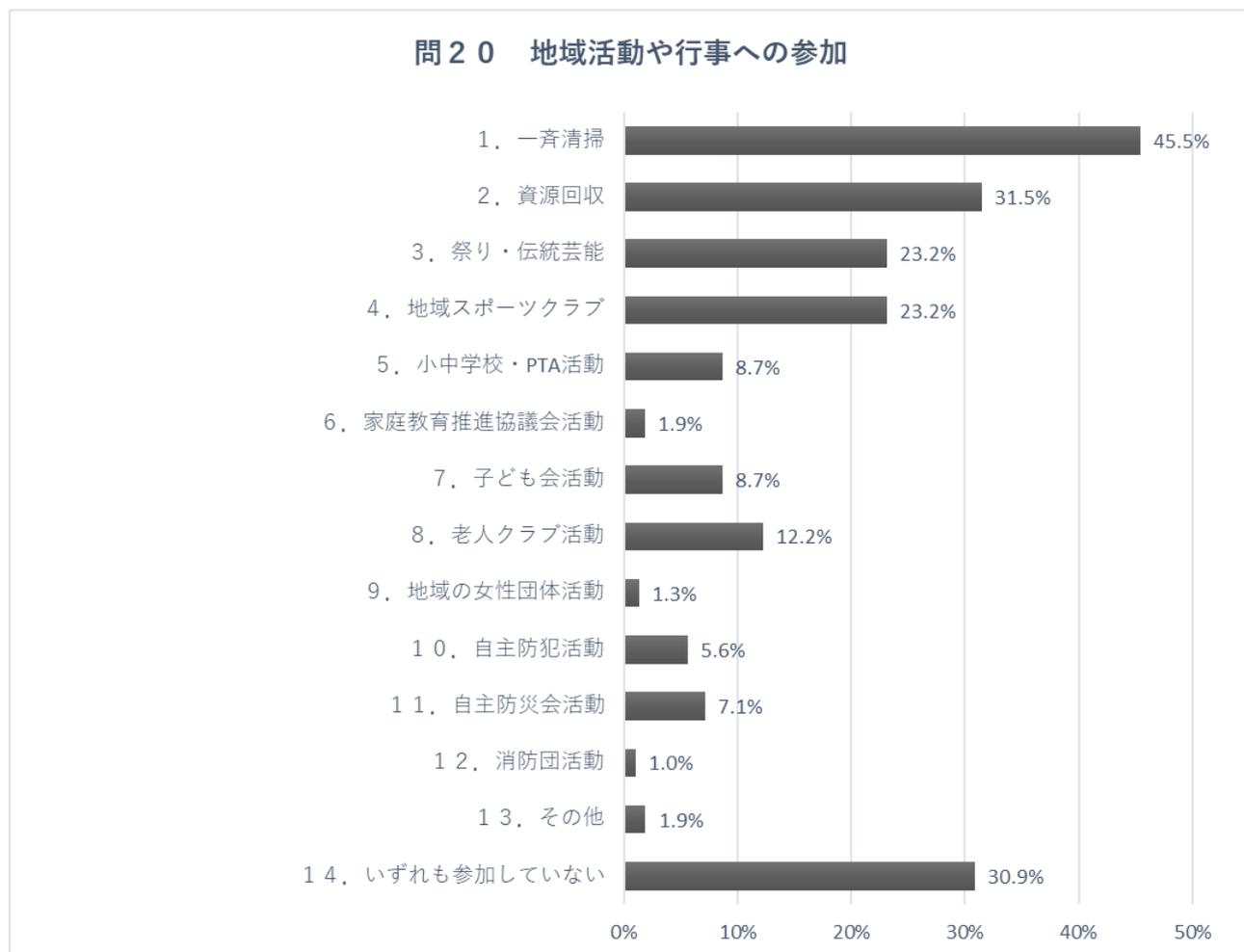
また、地域の人との付き合いの状況を聞いたところ、8割以上の方が「顔を合わせればあいさつする」と答えており、4割弱の人は「会えば立ち話をする」と答えている。一方で互いの家を行き来するほど親密な関係をもっている人はわずかで、「ほとんど顔も知らない」人も1割以上いることから人間関係が希薄化している状況がうかがえる。



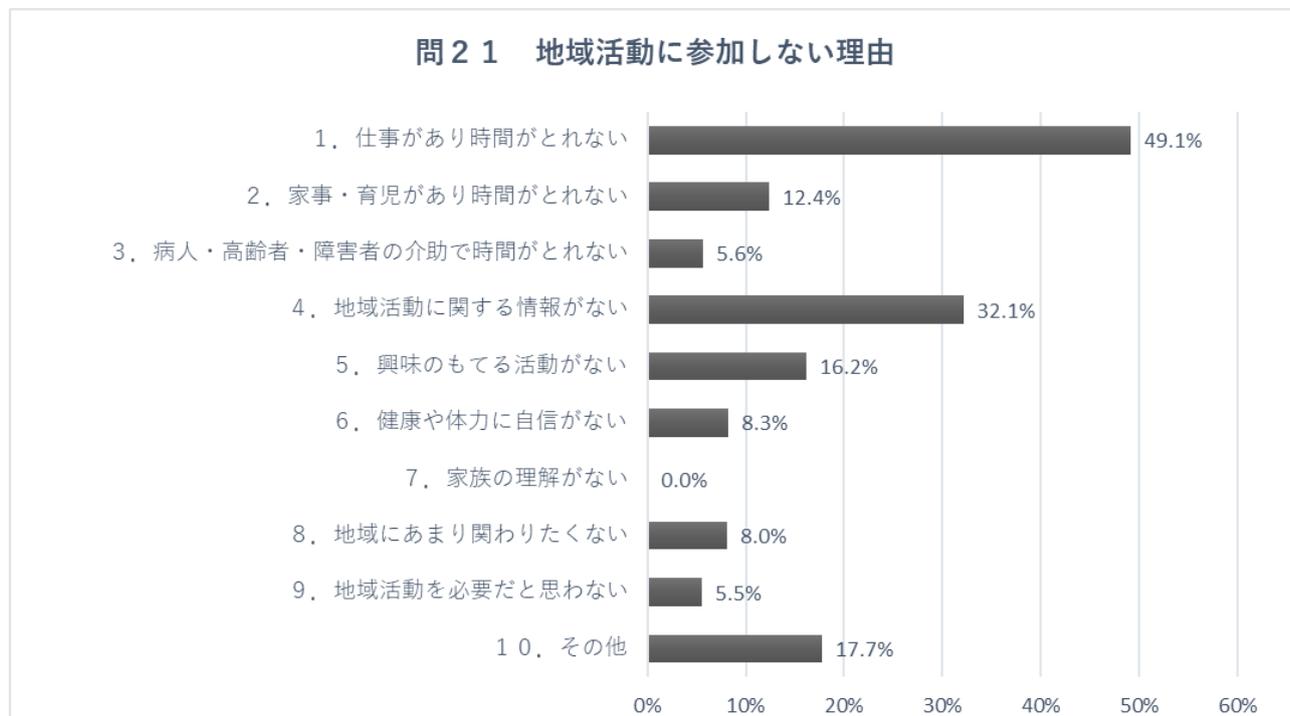
自治会や町内会などの自治組織に参加しているかを聞いたところ、7割弱の世帯が参加していた。一方で、約2割の世帯が自治組織に参加していない。



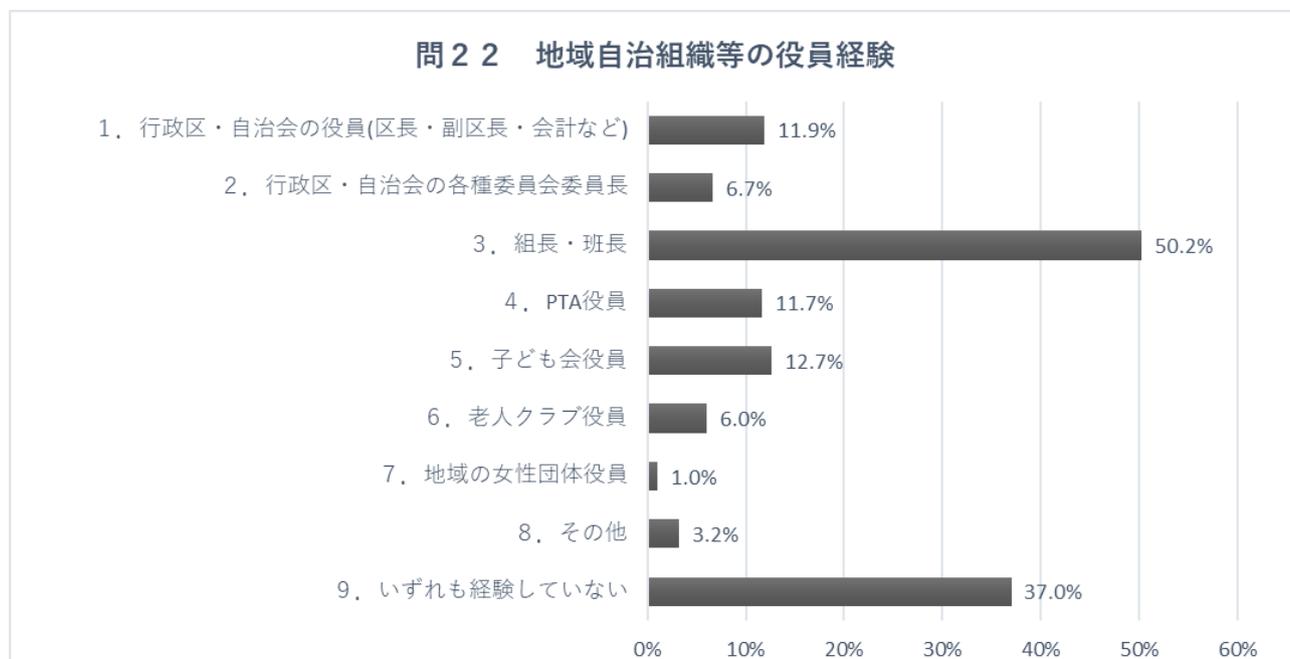
地域活動や行事への参加では「一斉清掃」や「資源回収」、「祭り・伝統芸能」、「地域スポーツクラブ」への参加はある程度あるものの、それ以外の活動への参加は少なく、「いずれも参加していない」人は3割以上いる。



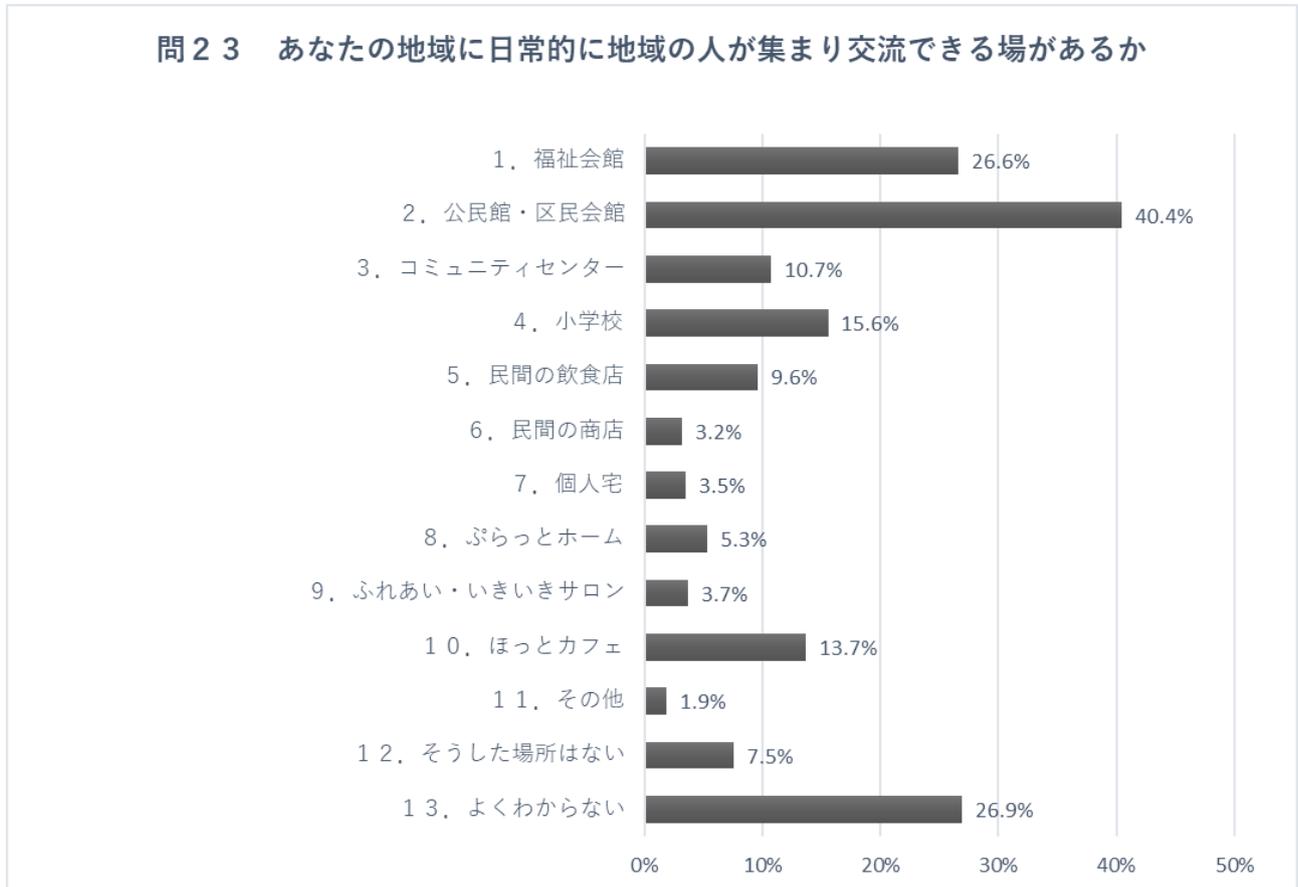
前問で地域活動にいずれも参加していない人にその理由を聞いたところ、約半数は「仕事があり時間がとれない」と回答しており、「地域活動に関する情報がない」が3割超となっている。回覧板などの地域情報媒体がうまく機能していない可能性がある。さらに、「興味のもてる活動がない」が2割弱、「地域にあまり関わりたくない」人が1割弱おり地域への意識が離れていることがうかがえる。



地域の自治組織の役員経験を聞いたところ、「組長・班長」が最も多く、半数の人が経験している。一方で、4割弱の人が「いずれも経験していない」と回答しており、特定の人に役が回っていることがうかがえる。

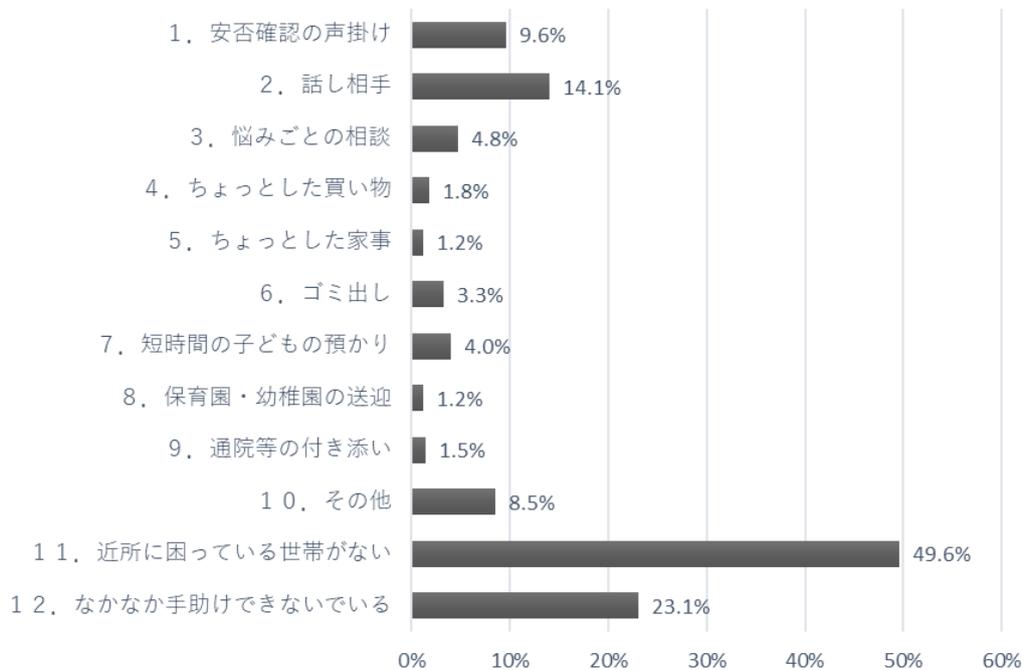


地域の中での交流スペースや居場所について聞いたところ、「公民館・区民会館」が4割超、「福社会館」が3割弱と、公共スペースを指摘する人が多い。一方で、「ほっとカフェ」はやや認知されているものの、「ぷらっとホーム」や「ふれあい・いきいきサロン」といった事業型の場所への認知度は低い。また、4分の1のひとは、「よくわからない」と答えており、地域内の関心が低いことがうかがえる。

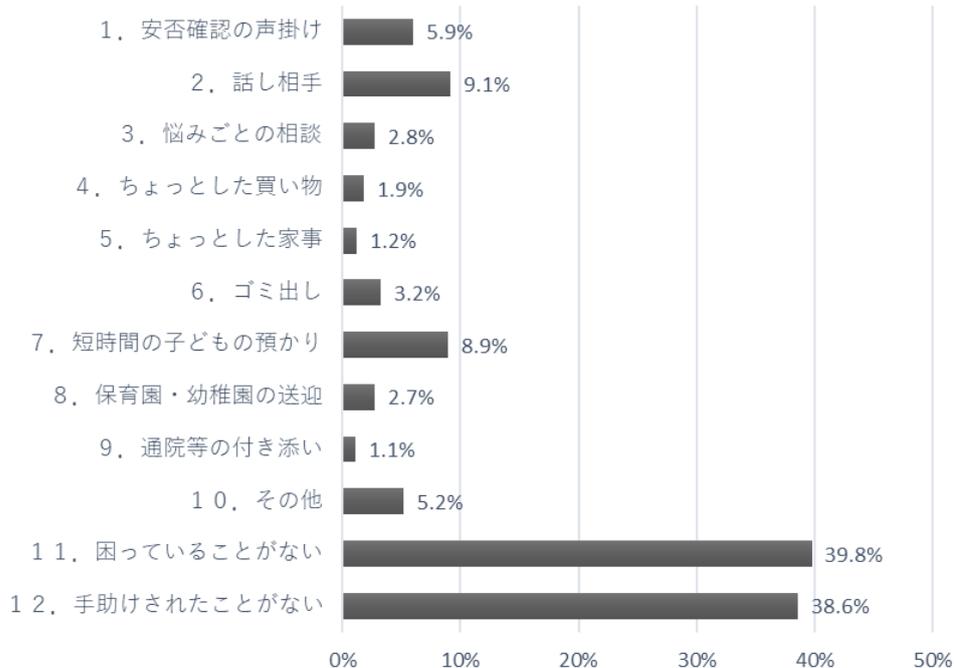


次に、地域内での助け合いの状況を聞いたところ、助ける側、助けられる側どちらもあまり行われておらず、「話し相手」が1割程度あるのみである。気軽に手助けや相談をできる状況にはなく、ほとんどが近隣の状況を把握できていないか、積極的に介入できない状況にある。「困っていることがない」と答えた人は約4割で、残りの人は何らかの問題を抱えているとすれば、相互扶助の関係を地域で結んでいく必要がある。

問25 近隣の困っている世帯を手助けすることはあるか

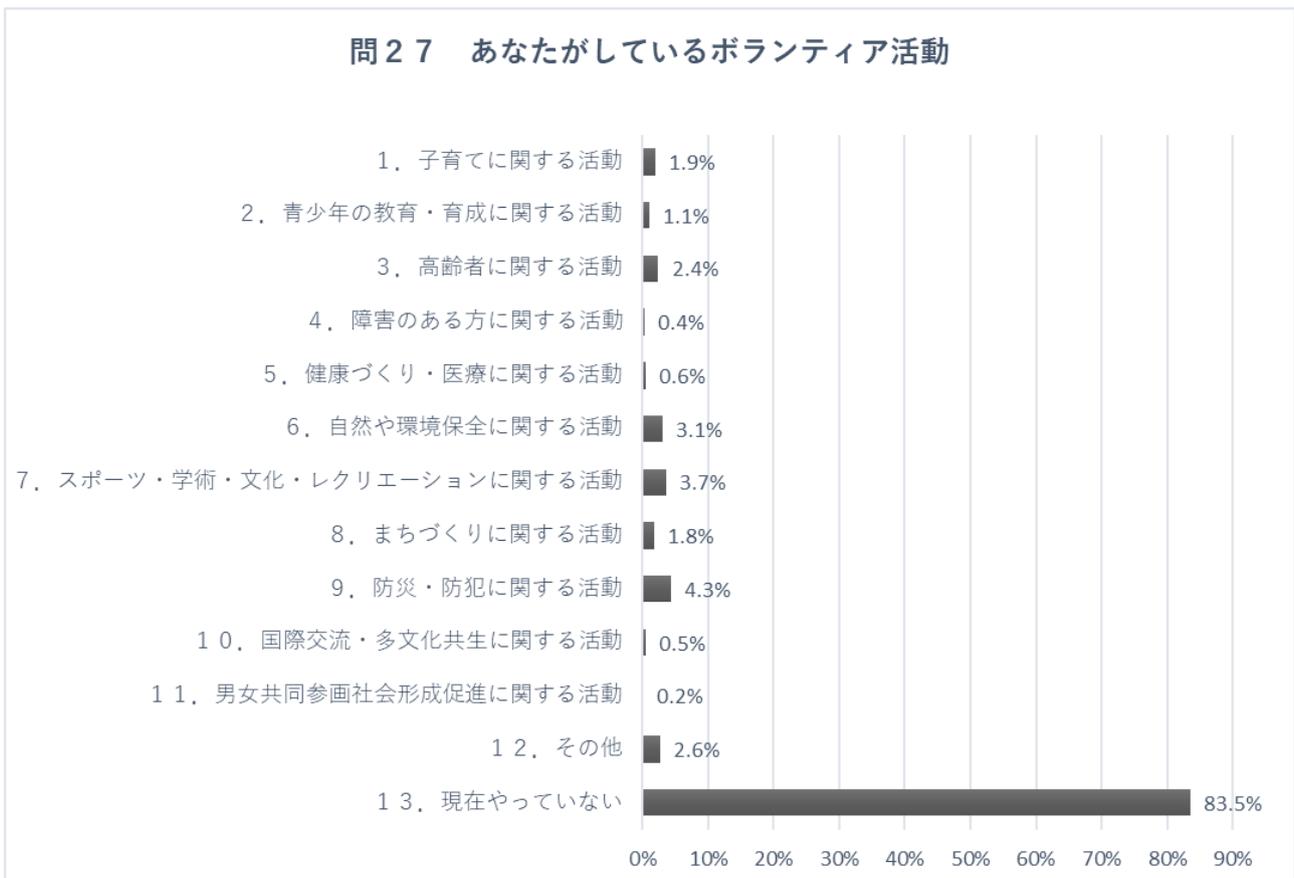


問26 近隣の方から手助けされ助かったことはあるか

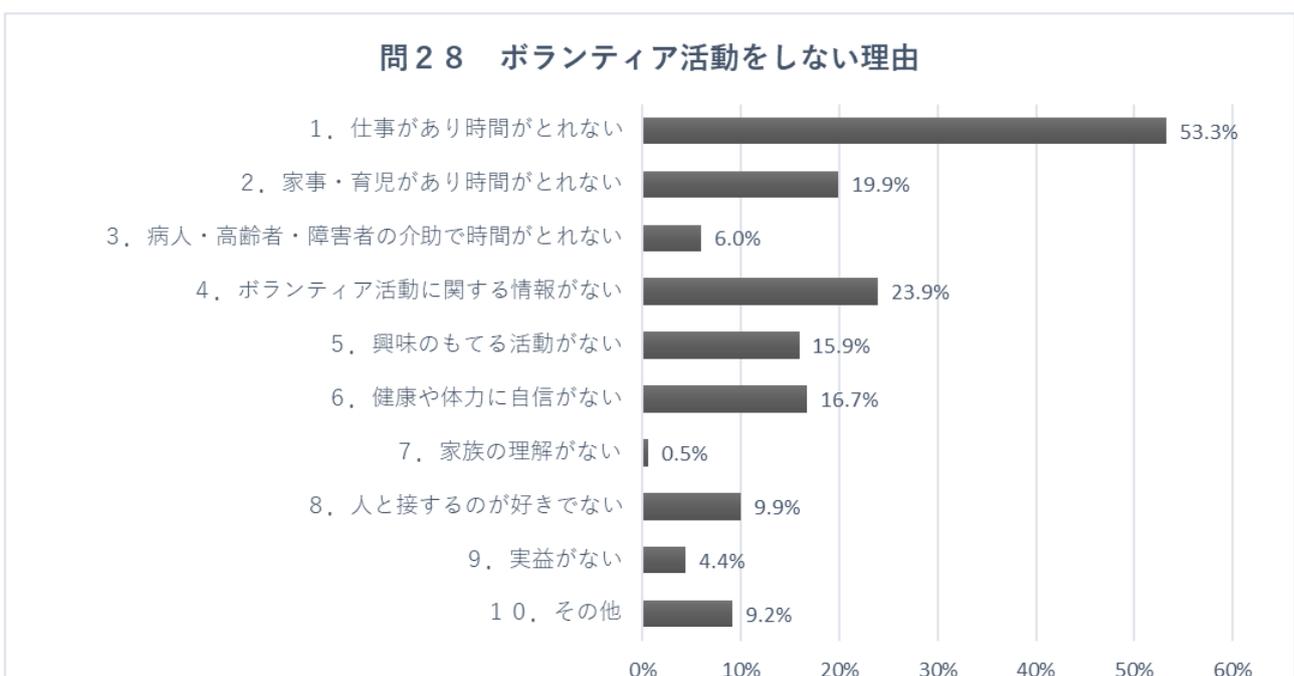


(4) ボランティア活動(NPO活動を含む)について

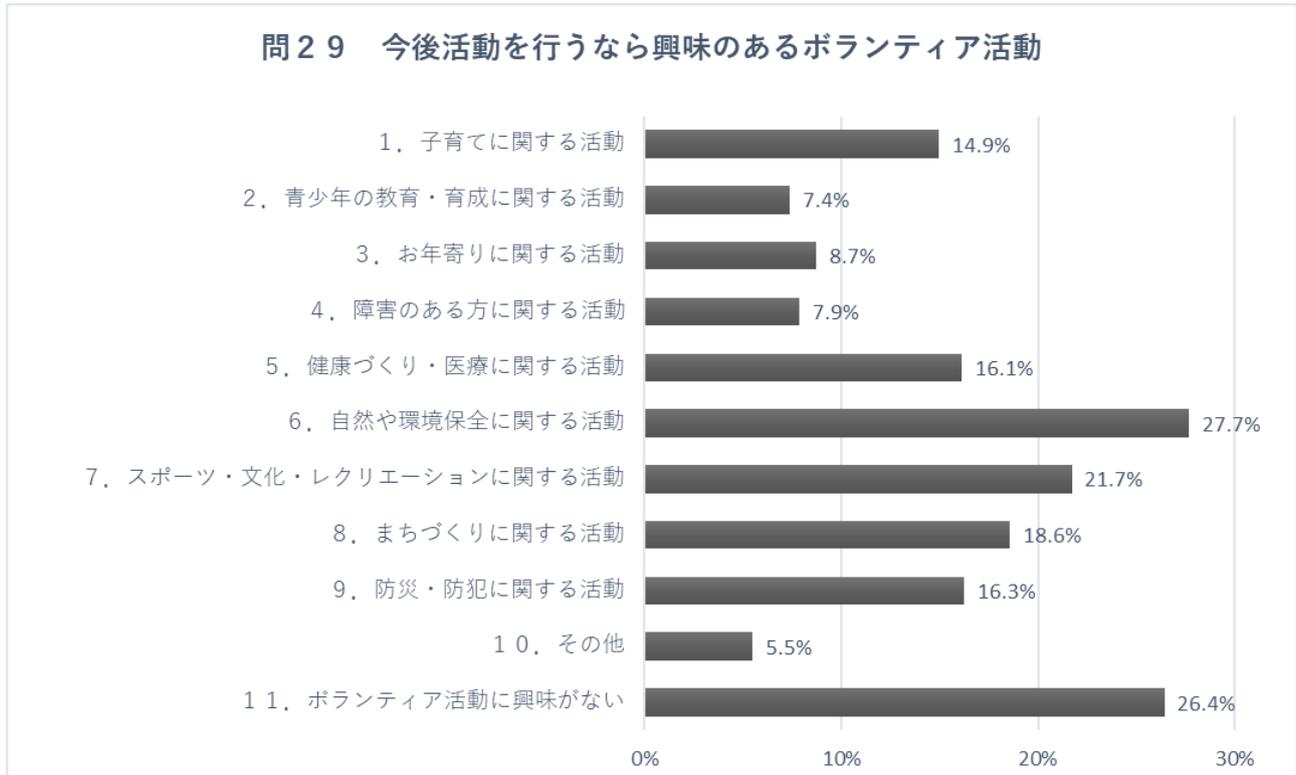
ボランティア活動を行っているかを聞いたところ、ほとんどの人は現在やっていないという回答であった。



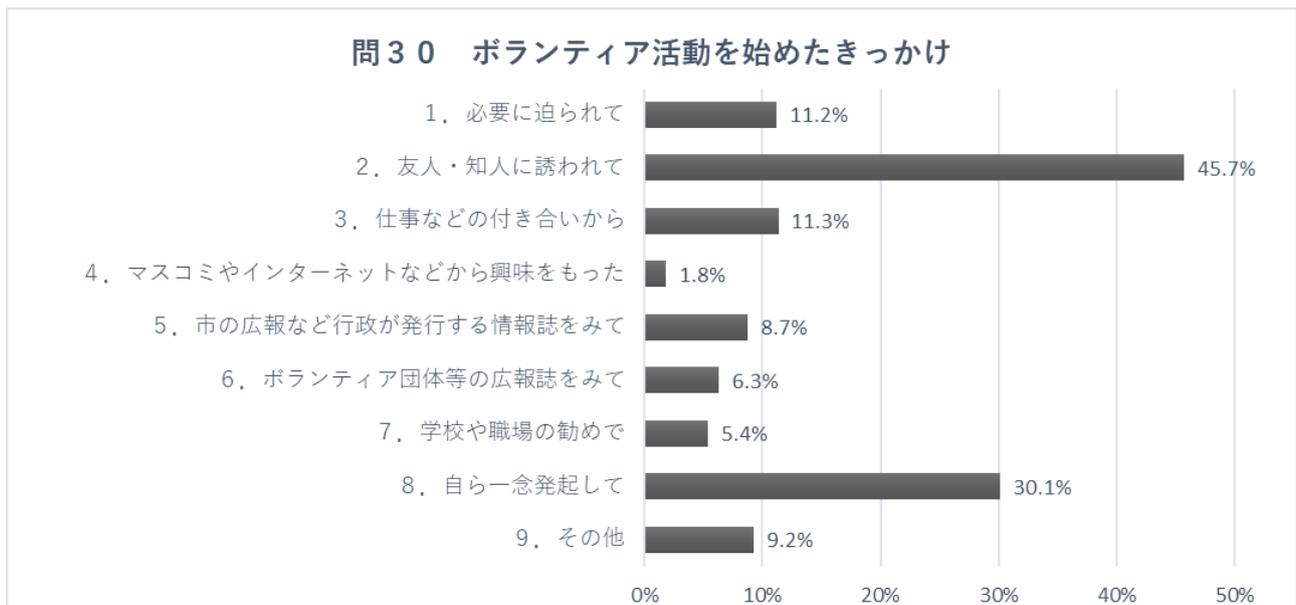
やっていない理由を聞いたところ、5割以上の人が「仕事があり時間がとれない」と回答し、次いで「ボランティア活動に関する情報がない」と答える人が多かった。これは地域活動を行わない理由と同様の傾向であった。また、若い世代では「家事・子育てがあり時間がとれない」や高齢世代では「健康や体力に自信がない」が多い結果となった。



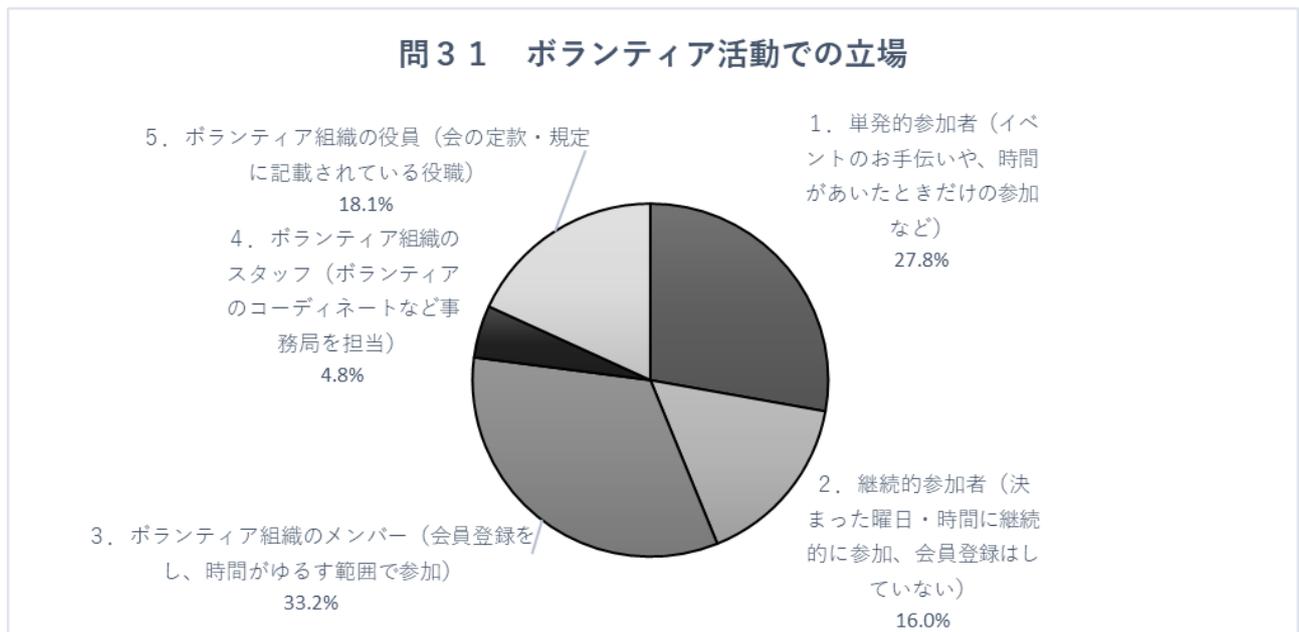
ボランティア活動を現在やっていない人に、今後ボランティア活動を行うのであればどんな活動に興味があるか聞いたところ、「自然や環境保全に関する活動」が最も多く、次いで「スポーツ・文化・レクリエーションに関する活動」となった。一方で「ボランティア活動に興味がない」人も4分の1いた。



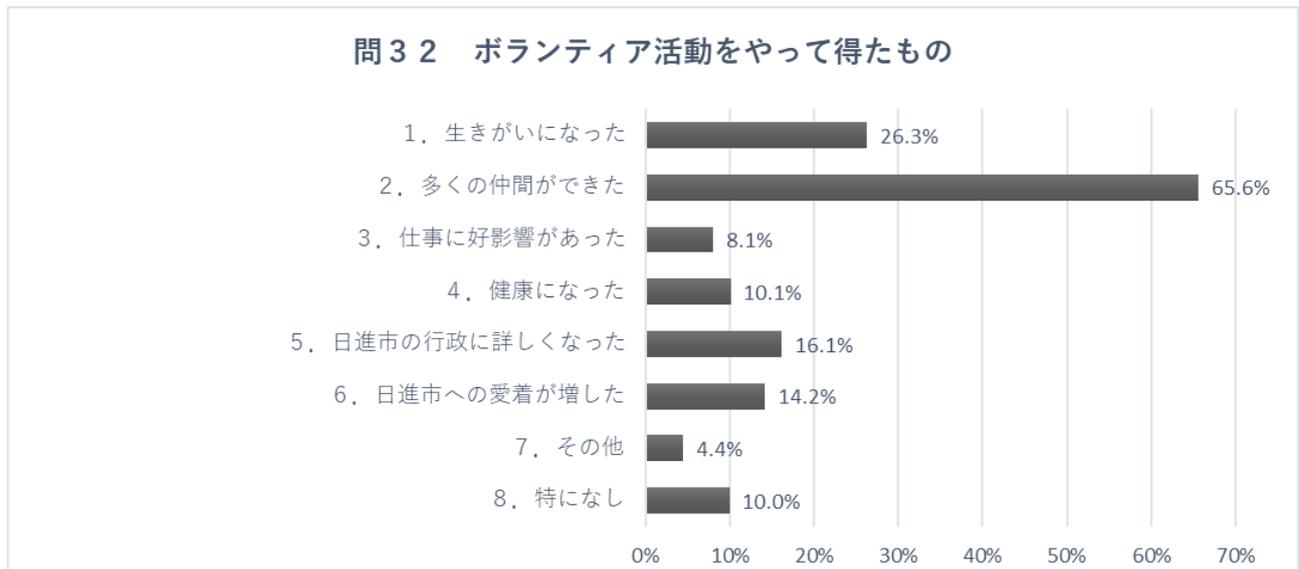
逆に、現在ボランティア活動を行っている人に、どのようなきっかけで活動を始めたのか聞いたところ、最も多かったのは「友人・知人に誘われて」が4割超、次いで「自ら一念発起して」が3割となった。一方でマスコミやインターネット、あるいはボランティア団体の広報誌、市の広報などの媒体を通じた情報をみて始めた人は少なく、先述の情報がないから活動をしないとする人に情報を与えたところで効果は少ないと考えられる。



どのような立場でボランティア活動に参加しているか聞いたところ、3割以上の人が「ボランティア組織のメンバー」と回答し、次いで「単発的参加者」、「ボランティア組織の役員」となった。

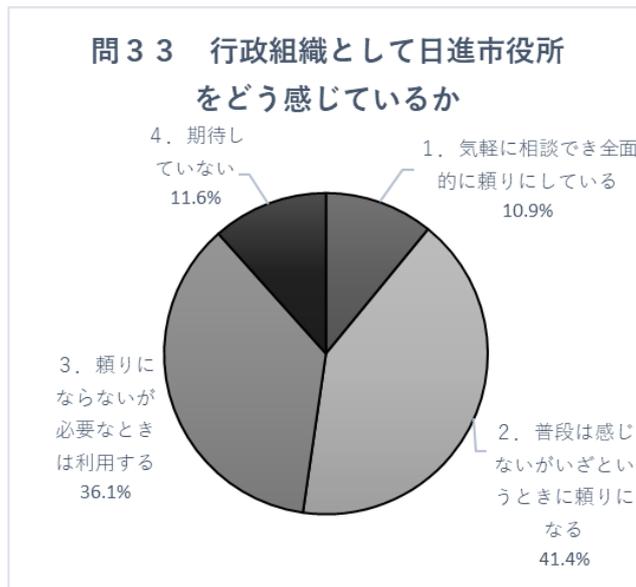


ボランティア活動をやってみて得たものを聞いたところ、6割以上の人が「多くの仲間ができた」と回答し、次いで「生きがいになった」が多かった。「特になし」という人は1割であり、何らかのメリットを感じている人が多い。

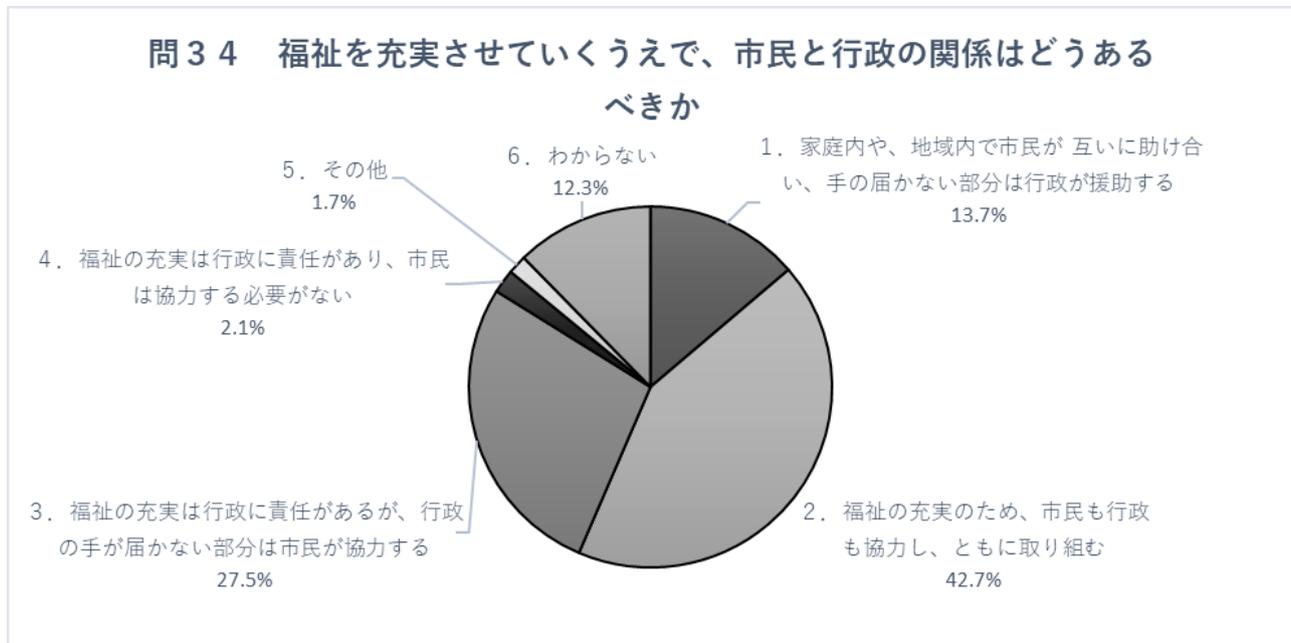


(5) 日進市の行政について

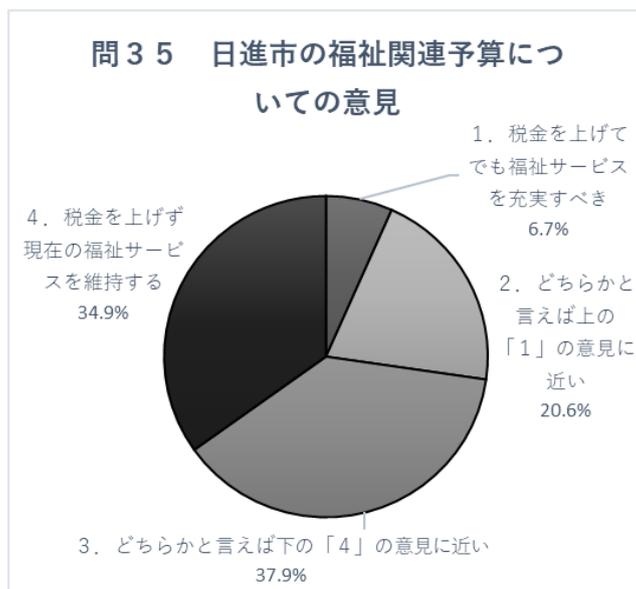
行政組織として日進市役所に対する親近感を聞いたところ、4割以上の人々が「普段は感じないがいざというときに頼りになる」と回答し、次いで「頼りにならないが必要なときは利用する」となった。



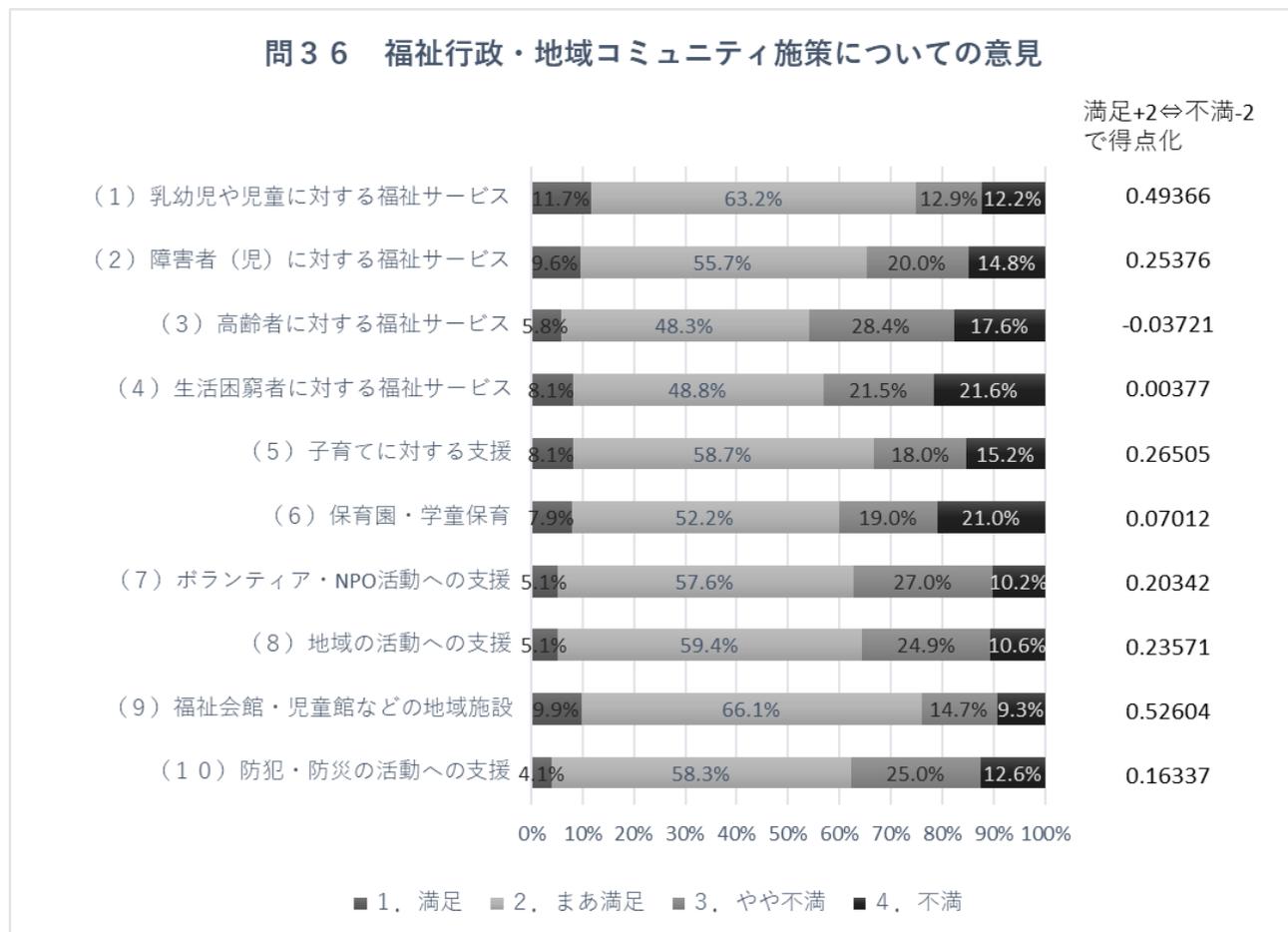
次に、行政と地域、市民の役割分担に対する意見を聞いたところ、4割以上の人々が「福祉の充実のため、市民も行政も協力し、ともに取り組む」と回答し、次いで3割弱の人が「福祉の充実には行政に責任があるが、行政の手の届かない部分は市民が協力する」という結果となった。自助・共助が先にあり、それでも無理なことを公助(行政)で行うという「補完性の原理」からすると、やや公助(行政)に頼る部分が多い回答となった。



次に、税と福祉のバランスに関する意見を聞いたところ、「税金を上げず現在の福祉サービスを維持する」とする意見への回答が多い結果となった。

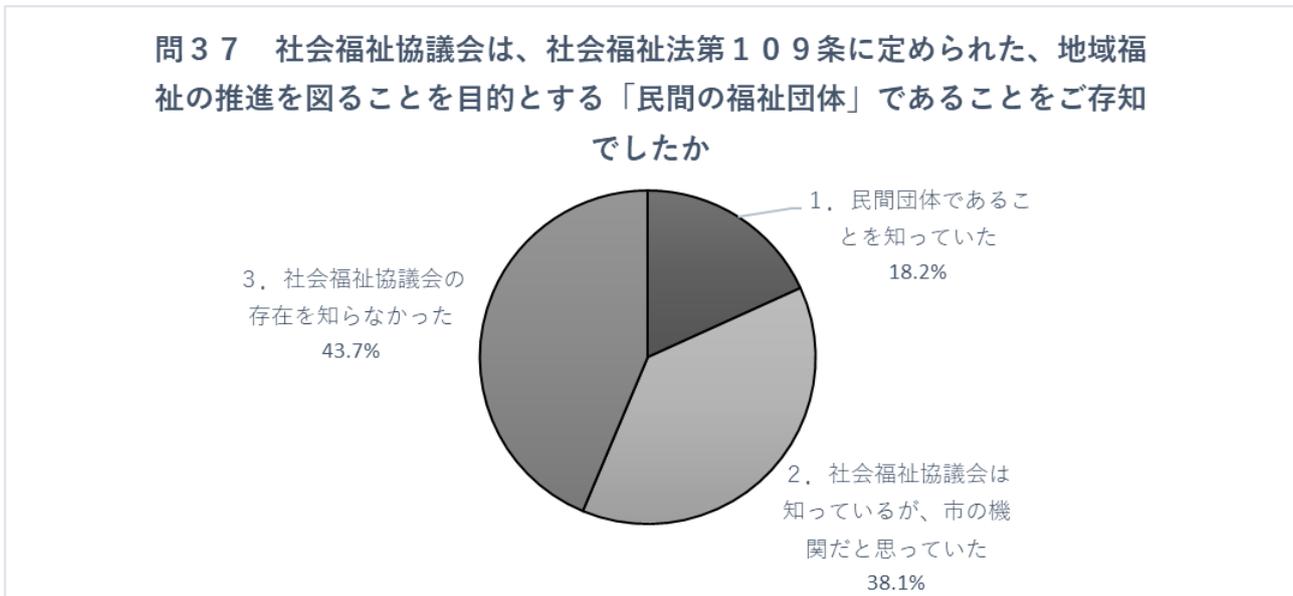


現在日進市で行っている、福祉、地域コミュニティに関する政策についての満足度を聞いたところ、満足度の高いものは「福祉会館・児童館などの地域施設」、「乳幼児や児童に対する福祉サービス」で、逆に満足度の低いのは「高齢者に対する福祉サービス」、「生活困窮者に対する福祉サービス」であった。

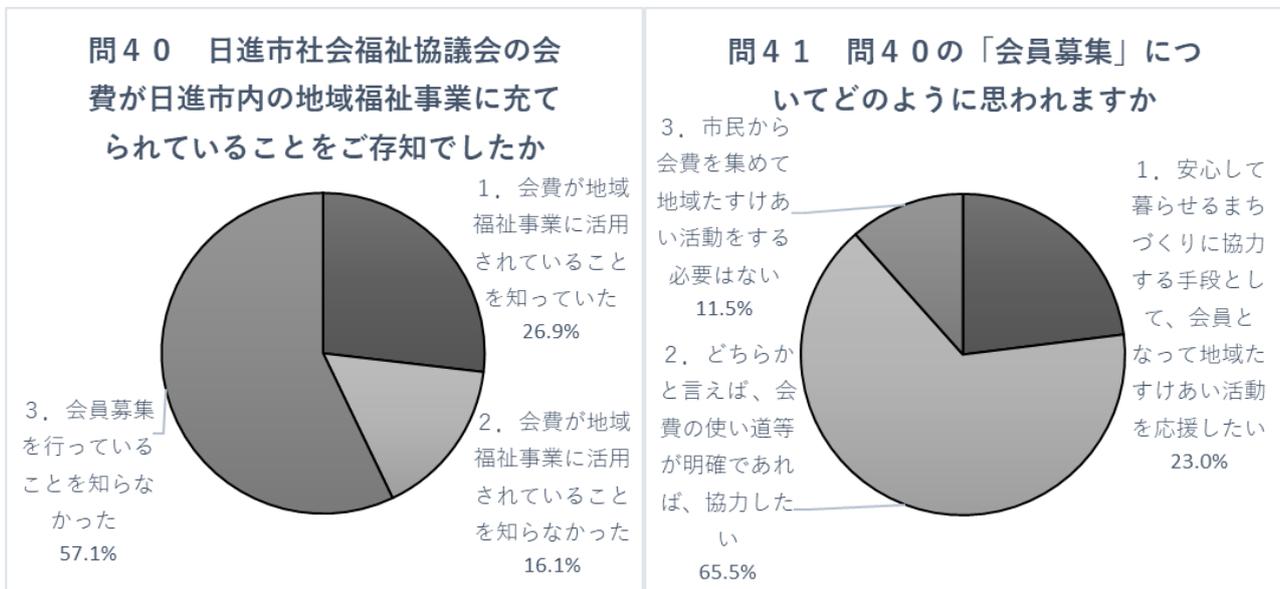


(6) 日進市社会福祉協議会について

日進市社会福祉協議会を知っているか聞いたところ、4割以上の方が「社会福祉協議会の存在を知らなかった」と回答した。また「社会福祉協議会は知っているが、市の機関だと思っていた」人も4割弱おり、十分に理解されているとはいえない。

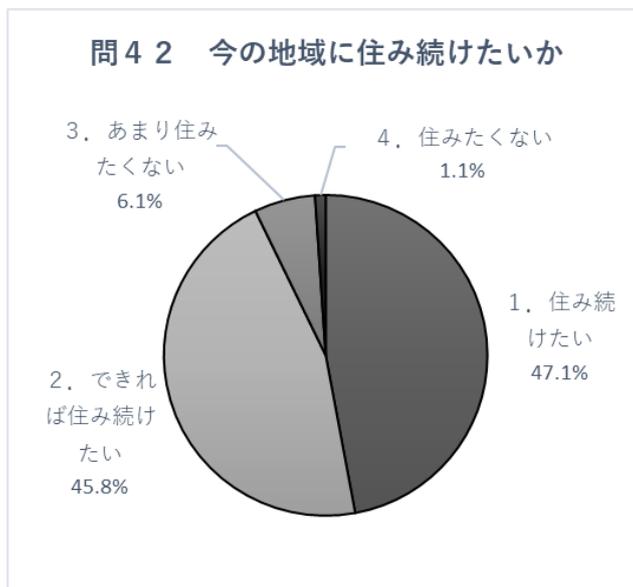


また、社会福祉協議会の会費について聞いたところ、6割弱が「会員募集を行っていることを知らなかった」と回答した。また、会員募集について6割以上の人が「会費の使い道等が明確であれば協力したい」と回答した。

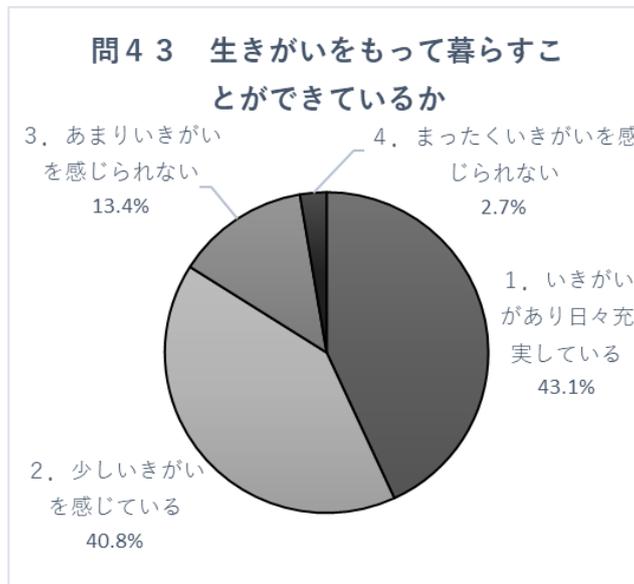


(7)総合評価

最後に、今の地域に住み続けたいか聞いたところ、「住み続けたい」と「できればすみ続けたい」をあわせて9割以上あり、現在の生活環境に対しての満足度は高いことがうかがえる。



また、現在の生活についていきがいをもって暮らすことができているかを聞いたところ、「いきがいがあり日々充実している」、「少しいきがいを感じている」という人がそれぞれ4割以上いる。一方で、「あまりいきがいを感ぜられない」人が1割以上おり、中には「まったくいきがいを感ぜられない」という人も少数だがいる。日進市の福祉を考えたとき、こうしたなんらかの問題を抱える人に救いの手が差し伸べられる必要があると考える。



3. アンケート調査票

日進市福祉コミュニティ意識調査

アンケート調査へのご協力をお願い

日頃から地域福祉行政にご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。

日進市では現在、「にっしん幸せまちづくりプラン（第2次日進市地域福祉計画・第4次日進市地域福祉活動計画）*」の見直しを行っています。

市民の皆様が安心して長く住み続けることができる地域にするために、このアンケート調査をもとに、お住まいの地域についての助け合いや福祉活動、周辺の居住環境の実態を明らかにし、どのような政策や行政サービスが求められるのかを検討したいと考えています。

このアンケート調査は、日進市内の世帯から無作為に2,500世帯を選ばせていただき、世帯の状況についてお答えいただくものです。アンケートは無記名であり、ご回答内容についてはすべて統計的处理を行い、個人の情報が漏洩しないよう細心の注意を払いますので、率直にお答えいただきますようお願いいたします。

尚、このアンケートの分析は愛知学院大学政策科学研究所が担当します。分析結果については、学術研究の一環として個人を特定できないようにしたうえで、公表させていただきます。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和元年6月 日進市長 近藤 裕貴

日進市社会福祉協議会 会長 堀之内 秀紀

愛知学院大学 政策科学研究所 所長 森 正

* 地域福祉計画とは「地域福祉を総合的に推進するために、地方自治体が定める計画」、地域福祉活動計画とは「社会福祉協議会が市民に対して実施する地域福祉に関する具体的な活動を定める計画」のことで。

ご回答にあたってのお願い

- 世帯主様が記入できない場合は、代理のご家族様が記入いただいても構いません。
- 回答にあたっては、特に記載の無い場合は、あてはまる項目を1つ選んで番号に○を付けてください。ただし、「その他」を選ばれた場合は（ ）内に内容を具体的にお書きください。
- 回答の終わったアンケート用紙は**6月17日(月)まで**に同封の**返信用封筒**に入れ、ポストに投函してください。
- このアンケートについてのご質問などありましたら下記までお問合せください。

日進市 健康福祉部 地域福祉課 福祉政策係
〒470-0192 愛知県日進市蟹甲町池下 268 番地
TEL 0561-73-1643 FAX 0561-72-4554
E メール chiikifukushi@city.nisshin.lg.jp

あなたのお住まいについておたずねします。

問9 あなたのお住まいの地区をお答えください(50音順)。あてはまるもの1つに○をお付けください。

- | | | | |
|---------|---------|----------|----------|
| 1. 赤池 | 2. 赤池町 | 3. 赤池南 | 4. 浅田町 |
| 5. 浅田平子 | 6. 岩崎台 | 7. 岩崎町 | 8. 岩藤町 |
| 9. 梅森台 | 10. 梅森町 | 11. 折戸町 | 12. 香久山 |
| 13. 蟹甲町 | 14. 北新町 | 15. 米野木台 | 16. 米野木町 |
| 17. 五色園 | 18. 栄 | 19. 三本木町 | 20. 竹の山 |
| 21. 野方町 | 22. 東山 | 23. 藤枝町 | 24. 藤島町 |
| 25. 藤塚 | 26. 本郷町 | 27. 南ヶ丘 | |

問10 あなたがお住まいの住宅についてお答えください。あてはまるもの1つに○をお付けください。

- | | |
|-------------|--------------------------|
| 1. 持ち家・一戸建て | 2. 持ち家・集合住宅(マンションなど) |
| 3. 借家・一戸建て | 4. 借家・集合住宅(マンション・アパートなど) |
| 5. その他() | |

問11 あなたがお住まいの住宅は何階建てですか。

- | | |
|----------------------------|---------------------------|
| 1. ()階建ての <u>集合住宅</u> に居住 | 2. ()階建ての <u>戸建て</u> に居住 |
|----------------------------|---------------------------|

問12 あなたの家族はいつからその場所に住んでいますか。あてはまるもの1つに○をお付けください。

- | | |
|-----------------------------------|--------|
| 1. 祖父母より前の代から | } 問15へ |
| 2. 祖父母の代から | |
| 3. 父母の代から()年ごろから) | |
| 4. あなたの代に引っ越してきた()年から) → 問13、14へ | |

問13 問12で「4. あなたの代に引っ越してきた」と回答した方にお聞きます。あなたが日進市に引っ越してきたきっかけは何ですか。あてはまるもの1つに○をお付けください。

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 就職・就学・転勤・転職のため | 2. 結婚のため |
| 3. 親または子供と同居するため | 4. 親または子供と近居・隣居するため |
| 5. 住み替えのため | 6. その他() |

問14 問12で「4. あなたの代に引っ越してきた」と回答した方にお聞きます。あなたがお住まいとして日進市を選んだ理由は何ですか。あなたのお考えに近いものを3つまでお選びください。

- | | |
|----------------------------|-------------------------|
| 1. 手ごろな価格・家賃の住宅があったため | 2. もともと土地または住宅を所有していたため |
| 3. 通勤・通学に便利だったため | 4. 緑が豊かで自然環境に恵まれていたため |
| 5. 高齢者・障害のある方への福祉が充実していたため | 6. 子育て環境が充実していたため |
| 7. 教育環境が充実していたため | 8. その他() |
| 9. 特に理由はない | |

問15 あなたのお住まいの隣接地について、あてはまるものすべてに○をお付けください。

- | | | | |
|---------------|--------------|--------------|--------|
| 1. 戸建て住宅 | 2. 1～2階の集合住宅 | 3. 3階以上の集合住宅 | 4. 田畑 |
| 5. 雑木林・竹林 | 6. 国道・県道 | 7. 公園 | 8. 学校 |
| 9. ショッピングセンター | 10. 商店 | 11. 飲食店 | 12. 工場 |
| 13. 倉庫 | 14. 駐車場 | 15. その他() | |

問16 あなたのお住まいから歩いて10分程度の範囲について、あてはまるものすべてに○をお付けください。

1. 電車の駅がある
2. 日用品を買い物できる店がある
3. よく利用する飲食店がある
4. 公園や雑木林など四季を感じられる場所がある
5. 児童館や公園など子どもが安心して遊ぶことのできる場所がある
6. 日常生活での困りごとを相談できる話し相手がいる
7. あてはまるものがない

あなたのお住まいの地域についておたずねします。

問17 「あなたがお住まいの地域」といったとき、次のどの範囲をイメージしますか。あなたの認識にもっとも近いものを1つ選び○をお付けください。

1. 自宅周辺の2～30戸程度(班・組の範囲)
2. 自宅周辺の50～100戸程度(旧小字・丁目・大規模マンションの範囲)
3. 自宅周辺の500～1000戸程度(自治会・小規模な行政区の範囲)
4. 自宅周辺の2000～5000戸程度(旧大字・大規模な行政区の範囲)
5. 小学校区の範囲
6. 中学校区の範囲
7. 日進市全域
8. 隣接市町村を含む範囲(名東区、天白区、長久手市、東郷町、みよし市)
9. それ以上の範囲

※これ以降、何の説明もなく「地域」という場合は、行政区・自治会など、自治組織のある最小範囲を指します。

問18 あなたは地域の人と主にどのような付き合いをしていますか。あてはまるもの2つまで○をお付けください。

1. 仲がよくお互いの家を行き来する
2. 会えば立ち話をする
3. 顔を合わせればあいさつをする
4. 顔は知っているが声をかけることはあまりない
5. ほとんど顔も知らない
6. その他()

問19 あなたの世帯は自治会など地域自治組織に参加していますか。あてはまるもの1つに○をお付けください。

1. 参加している(世帯で会費を払っている)
2. マンションなど集合住宅として参加している
3. 参加していない

問20 あなたは地域活動や行事に参加していますか。参加している地域活動すべてに○をお付けください。

- | | | | |
|-----------------|----------------|----------------|--------|
| 1. 一斉清掃 | 2. 資源回収 | 3. 祭り・伝統芸能 | } 問22へ |
| 4. 地域スポーツクラブ | 5. 小中学校・PTA 活動 | 6. 家庭教育推進協議会活動 | |
| 7. 子ども会活動 | 8. 老人クラブ活動 | 9. 地域の女性団体活動 | |
| 10. 自主防犯活動 | 11. 自主防災会活動 | 12. 消防団活動 | |
| 13. その他() | | | |
| 14. いずれも参加していない | →問21へ | | |

問21 問20で「14. いずれも参加していない」と回答した方にお聞きます。あなたが地域活動に参加しない(できない)理由は何でしょうか。あてはまるもの3つまで○をお付けください。

- | | |
|--------------------------|--------------------|
| 1. 仕事があり時間がとれない | 2. 家事・育児があり時間がとれない |
| 3. 病人・高齢者・障害者の介助で時間がとれない | 4. 地域活動に関する情報がない |
| 5. 興味のもてる活動がない | 6. 健康や体力に自信がない |
| 7. 家族の理解がない | 8. 地域にあまり関わりたくない |
| 9. 地域活動を必要だと思わない | 10. その他() |

問22 あなたは地域自治組織等の役員の経験はありますか。あてはまるものすべてに○をお付けください。

- | | | | |
|----------------------------|---------------------|-----------|------------|
| 1. 行政区・自治会の役員(区長・副区長・会計など) | 2. 行政区・自治会の各種委員会委員長 | | |
| 3. 組長・班長 | 4. PTA 役員 | 5. 子ども会役員 | 6. 老人クラブ役員 |
| 7. 地域の女性団体役員 | 8. その他() | | |
| 9. いずれも経験していない | | | |

問23 あなたのお住まいの地域には、日常的に地域の人が集まり交流できる場がありますか。あてはまるもの すべてに○をお付けください。

- | | | | |
|-----------------|-------------|---------------|------------|
| 1. 福祉会館 | 2. 公民館・区民会館 | 3. コミュニティセンター | 4. 小学校 |
| 5. 民間の飲食店 | 6. 民間の商店 | 7. 個人宅 | 8. ふらっとホーム |
| 9. ふれあい・いきいきサロン | 10. ほっとカフェ | 11. その他() | |
| 12. そうした場所はない | 13. よくわからない | | |

※ 「ふらっとホーム」は、市内の空き家、集会所等を利用し、いつでも気軽にふらっと集まって趣味を楽しんだり、談話したりできる場所。運営費を日進市が負担し、地域の方々や団体等が管理運営しています。

※ 「ふれあい・いきいきサロン」は、ひとり暮らしや、家の中で過ごしがちな高齢者等と、地域住民が、自宅から歩いていける場所に気軽に集い、共に食事等をとりながら、ふれあいを通して、生きがいつくり・仲間づくりの輪を広げる活動。地域のボランティアが中心に管理運営しています。

※ 「ほっとカフェ」は、地域の人たちが地域で楽しく生活するために、気軽に集まってお茶やコーヒーを飲みながらお話をする場。地域のボランティアの方々毎月2回程度開催しています。

問24 あなたのお住まいの地域では、先祖代々住んでいる人と、日進に引っ越してきた人との関係は良好ですか。あてはまるもの1つに○をお付けください。

1. 新旧を意識することなく、交流がある
2. 新旧を意識することはないが、距離がある
3. 新旧を互いに意識したうえで、交流がある
4. 新旧を意識することで、距離がある
5. よくわからない

問25 あなたは近隣の困っている世帯に手助けをすることはありますか。あてはまるものすべてに○をお付けください。

- | | | | |
|-------------------|--------------------|----------------|--------------|
| 1. 安否確認の声掛け | 2. 話し相手 | 3. 悩み事の相談 | 4. ちょっとした買い物 |
| 5. ちょっとした家事 | 6. ゴミ出し | 7. 短時間の子どもの預かり | |
| 8. 保育園・幼稚園の送迎 | 9. 通院等の付き添い | 10. その他() | |
| 11. 近隣に困っている世帯がない | 12. なかなか手助けできないでいる | | |

問26 あなたが困ったときに近隣の方から手助けされ助かったことはありますか。あてはまるものすべてに○をお付けください。

- | | | | |
|----------------|-----------------|----------------|--------------|
| 1. 安否確認の声掛け | 2. 話し相手 | 3. 悩み事の相談 | 4. ちょっとした買い物 |
| 5. ちょっとした家事 | 6. ゴミ出し | 7. 短時間の子どもの預かり | |
| 8. 保育園・幼稚園の送迎 | 9. 通院等の付き添い | 10. その他() | |
| 11. 困っていることがない | 12. 手助けされたことがない | | |

ボランティア活動(NPO 活動を含む)に関することについておたずねします。

問27 あなたは現在どんなボランティア活動をしていますか。あてはまるものすべてに○をお付けください。

- | | | |
|------------------------------|----------------------|---------------|
| 1. 子育てに関する活動 | 2. 青少年の教育・育成に関する活動 | } 問30～
32へ |
| 3. 高齢者に関する活動 | 4. 障害のある方に関する活動 | |
| 5. 健康づくり・医療に関する活動 | 6. 自然や環境保全に関する活動 | |
| 7. スポーツ・学術・文化・レクリエーションに関する活動 | 8. まちづくりに関する活動 | |
| 9. 防災・防犯に関する活動 | 10. 国際交流・多文化共生に関する活動 | |
| 11. 男女共同参画社会形成促進に関する活動 | 12. その他() | |
| 13. 現在やっていない →問28、29へ | | |

問28 問27で「13. 現在やっていない」と回答した方にお聞きします。ボランティア活動をしない(できない)理由は何ですか。あてはまるもの3つまで○をお付けください。

- | | |
|--------------------------|----------------------|
| 1. 仕事があり時間がとれない | 2. 家事・育児があり時間がとれない |
| 3. 病人・高齢者・障害者の介助で時間がとれない | 4. ボランティア活動に関する情報がない |
| 5. 興味のもてる活動がない | 6. 健康や体力に自信がない |
| 7. 家族の理解がない | 8. 人と接するのが好きでない |
| 9. 実益がない | 10. その他() |

問29 問27で「13. 現在やっていない」と回答した方にお聞きします。今後ボランティア活動を行うのであれば、どんなボランティア活動に興味がありますか。あてはまるものすべてに○をお付けください。→回答後、問33へ

- | | |
|---------------------------|--------------------|
| 1. 子育てに関する活動 | 2. 青少年の教育・育成に関する活動 |
| 3. お年寄りに関する活動 | 4. 障害のある方に関する活動 |
| 5. 健康づくり・医療に関する活動 | 6. 自然や環境保全に関する活動 |
| 7. スポーツ・文化・レクリエーションに関する活動 | 8. まちづくりに関する活動 |
| 9. 防災・防犯に関する活動 | 10. その他() |
| 11. ボランティア活動に興味がない | |

問30 問27で「1. 子育てに関する活動」～「12. その他」のいずれかを回答した方にお聞きします。ボランティア活動を始めたきっかけはなんですか。あてはまるもの3つまで○をお付けください。

- | | |
|------------------------|---------------------------|
| 1. 必要に迫られて | 2. 友人・知人に誘われて |
| 3. 仕事などの付き合いから | 4. マスコミやインターネットなどから興味をもった |
| 5. 市の広報など行政が発行する情報誌をみて | 6. ボランティア団体等の広報誌をみて |
| 7. 学校や職場の勧めで | 8. 自ら一念発起して |
| 9. その他() | |

問31 問27で「1. 子育てに関する活動」～「12. その他」のいずれかを回答した方にお聞きします。現在、もっとも力をいれて活動しているボランティア活動はどのような立場で参加していますか。あてはまるもの1つに○をお付けください。

1. 単発的参加者(イベントのお手伝いや、時間があいたときだけの参加など)
2. 継続的参加者(決まった曜日・時間に継続的に参加、会員登録はしていない)
3. ボランティア組織のメンバー(会員登録をし、時間がゆるす範囲で参加)
4. ボランティア組織のスタッフ(ボランティアのコーディネイトなど事務局を担当)
5. ボランティア組織の役員(会の定款・規定に記載されている役職)

問32 問27で「1. 子育てに関する活動」～「12. その他」のいずれかを回答した方にお聞きします。ボランティア活動をやってみて得たものはありますか。あてはまるものすべてに○をお付けください。

- | | |
|------------------|----------------|
| 1. 生きがいになった | 2. 多くの仲間ができた |
| 3. 仕事に好影響があった | 4. 健康になった |
| 5. 日進市の行政に詳しくなった | 6. 日進市への愛着が増した |
| 7. その他() | 8. 特になし |

日進市の行政についておたずねします。

問33 あなたは行政組織としての日進市役所をどのように感じていますか。あてはまるもの1つに○をお付けください。

- | | |
|-----------------------|--------------------------|
| 1. 気軽に相談でき全面的に頼りにしている | 2. 普段は感じないがいざというときに頼りになる |
| 3. 頼りにならないが必要なときは利用する | 4. 期待していない |

問34 地域で安心して暮らしていくための福祉を充実させていくうえで、市民と行政との関係はどうあるべきだと思いますか。あてはまるもの1つに○をお付けください。

1. 家庭内や、地域内で市民が互いに助け合い、手の届かない部分は行政が援助する
2. 福祉の充実のため、市民も行政も協力し、ともに取り組む
3. 福祉の充実には行政に責任があるが、行政の手の届かない部分は市民が協力する
4. 福祉の充実には行政に責任があり、市民は協力する必要がない
5. その他()
6. わからない

問35 日進市の福祉関連予算について、次の意見のうちもっともあなたの意見に近いもの1つに○をお付けください。

1. 税金を上げてでも福祉サービスを充実すべき
2. どちらかと言えば上の「1」の意見に近い
3. どちらかと言えば下の「4」の意見に近い
4. 税金を上げず現在の福祉サービスを維持する

問36 現在、日進市で行っている福祉行政・地域コミュニティ施策について、あなたの意見に近いもの1つに○をお付けください。

	満足	まあ満足	やや不満	不満	わからない
(1) 乳幼児や児童に対する福祉サービス	1	2	3	4	5
(2) 障害者(児)に対する福祉サービス	1	2	3	4	5
(3) 高齢者に対する福祉サービス	1	2	3	4	5
(4) 生活困窮者に対する福祉サービス	1	2	3	4	5
(5) 子育てに対する支援	1	2	3	4	5
(6) 保育園・学童保育	1	2	3	4	5
(7) ボランティア・NPO 活動への支援	1	2	3	4	5
(8) 地域の活動への支援	1	2	3	4	5
(9) 福祉会館・児童館などの地域施設	1	2	3	4	5
(10) 防犯・防災の活動への支援	1	2	3	4	5

日進市社会福祉協議会についておたずねします。

問37 社会福祉協議会は、社会福祉法第109条に定められた、地域福祉の推進を図ることを目的とする「民間の福祉団体」であることをご存知でしたか。あてはまるもの1つに○をお付けください。

1. 民間団体であることを知っていた
2. 社会福祉協議会は知っているが、市の機関だと思っていた
3. 社会福祉協議会の存在を知らなかった

問38 日進市社会福祉協議会は、日進市中央福祉センター(蟹甲町)と日進市障害者福祉センター(竹の山)の2か所を拠点に、次にあげる事業を行っています。ご存知の事業の番号、すべてに○をお付けください。

日進市中央福祉センターで行っている事業

	事業名	事業内容
1	一般会員・特別会員・法人会員の拡充	社会福祉協議会の実施する地域福祉事業に賛同していただける方から、毎年5月に会費をいただき、各種福祉事業の財源とさせていただきます。
2	『福祉だより』発行	年4回、全世帯に配布しています。会費と共同募金を活用しています。
3	健康・福祉フェスティバル にっしん	にっしん市民まつりの中で、地域福祉事業に関する情報を発信しています。会費と共同募金を活用しています。
4	福祉功労者表彰式	にっしん市民まつりの中で、地域福祉事業に貢献された方の表彰を行っています。会費と市の補助金を財源としています。
5	小・中・高等学校での福祉実践教室の開催	すべての小・中学校と希望のあった高等学校で、だれもが住みやすい福祉のまちづくりを考える授業を開催しています。共同募金を活用しています。
6	青少年等ボランティア福祉体験学習事業	夏休みに中学生・高校生を対象とした施設でのボランティア体験を実施しています。共同募金を活用しています。
7	関係福祉団体・団体事業への助成	日進市子ども会連絡協議会、日進市老人クラブ連合会、身体障害者福祉協会等の助成を行っています。市の補助金を財源としています。
8	生活支援体制整備事業	生活支援コーディネーターを配置し、地域における生活支援体制の整備に向けて、地域の支援ニーズとサービス提供主体のマッチング等のコーディネート業務を行っています。日進市からの受託金と、日進市社会福祉協議会の社会福祉充実基金を活用しています。
9	つどいの場の運営支援・助成	地域住民の誰もが気軽に交流でき、健康づくり、支え合い、助け合いの地域づくりを進める「つどいの場」を支援しています。会費と共同募金を活用しています。
10	福祉まちづくり協議会への助成	区、自治会の範囲等、日常の生活圏域に組織され、地域の福祉課題の解決や福祉のまちづくりをめざす「福祉まちづくり協議会」を支援しています。会費を活用しています。
11	ボランティア団体の活動助成	ボランティアグループ及びボランティア連絡協議会に対し、活動の支援、助成を行っています。会費を活用しています。
12	ボランティア養成講座の開催	ボランティア活動への参加のきっかけとなるような入門講座、自分たちの活動をPRする方法を学ぶ講座等を開催し、ボランティア活動を支援しています。会費を活用しています。
13	災害ボランティアコーディネーター養成講座の開催	日進市が被災した際に、災害ボランティアセンターでのコーディネートを担う災害ボランティアコーディネーターを養成、登録しています。会費と共同募金を活用しています。

14	災害ボランティアセンター開設・運営訓練の開催	日進市が被災した際に、災害ボランティアセンターを速やかに開設・運営するための訓練を、災害ボランティアコーディネーターと共に行っています。会費と共同募金を活用しています。
15	赤い羽根共同募金事業	赤い羽根共同募金運動を支援するため、赤い羽根作品コンクール等を行い、啓発を行っています。また、各種福祉事業に共同募金を活用しています。
16	CSW(地域たすけあい相談員)配置事業	「地域たすけあい相談員」を配置し、個別の困りごとに対応するとともに、地域での課題解決に向けて働きかけを行っています。社会福祉協議会の独自事業で、日進市社会福祉協議会の社会福祉充実基金を活用しています。
17	生活困窮者自立支援事業	就職、住居、食糧、家計管理など、生活上の様々な困りごとの相談事業を行い、窓口は、市役所 1 階に設置されています。日進市からの受託金と日進市社会福祉協議会の社会福祉充実基金を活用しています。
18	生活福祉資金貸付事業	生活費や就学のための資金が不足している方に対し、貸付を行っています。愛知県社会福祉協議会からの受託事業です。
19	中央福祉センター・福祉情報センターの管理	蟹甲町にある中央福祉センター・福祉情報センターを管理しています。日進市からの指定管理事業です。
20	福祉機器貸与	一時的に車いす、歩行者、スロープ等が必要となる方に対し、無料で短期貸与を行っています。会費を活用しています。
21	福祉機器リサイクル	ご家庭で使われなくなった車いす等を、必要とする方に譲っていただきリサイクル事業を行っています。会費を活用しています。
22	車いす専用車貸出事業	車いすのまま乗り降りできる車両の貸出しを行っています。会費を活用しています。
23	日常生活自立支援	認知症高齢者や知的・精神に障害のある方で、各種契約、金銭・書類管理等不安のある方のお手伝いをしています。愛知県社会福祉協議会からの受託事業です。
24	ひとり親家庭親子交流会	ひとり親家庭どうしの交流の機会を作ることを目的として、年に1回交流会を開催しています。共同募金を活用しています。
25	学習支援や子ども食堂の支援	「子どもの支援を考える会」を立ち上げ、学習支援や子ども食堂などの理解啓発に取り組んでいます。愛知県社会福祉協議会の福祉基金による助成を受けています。
26	介護支援ボランティア(おたっしやボランティア)	65歳以上の方がお元気に過ごしていただくことを目的に、指定施設でのボランティア活動にポイントを付与しています。ポイントは交付金に転換できません。日進市からの受託事業です。
27	金婚・ダイヤモンド婚・プラチナ婚を祝う会	結婚 50 年、60 年、70 年を迎えられたご夫婦をお祝いする会です。日進市との共催事業です。
28	居宅介護支援事業	ケアマネジャーが要介護の方のケアプランを作成しています。介護保険事業です。
29	通所介護事業(デイサービス)	高齢の方、障害の方をご自宅までお迎えに行き、体操、入浴、昼食、おやつ、レクリエーションなどで夕方まで過ごしていただきます。介護保険及び障害者自立支援事業の給付費と、日進市社会福祉協議会の社会福祉充実基金を活用しています。
30	中部地域包括支援センター	地域で暮らす高齢者の総合相談窓口として、消費者被害への対応や虐待相談など高齢者の権利を守るお手伝い、介護予防のお手伝いをしています。日進市からの受託事業です。

日進市障害者福祉センターで行っている事業

31	障害者福祉センターの管理	竹の山にある障害者福祉センターを管理しています。日進市からの指定管理事業です。
32	子ども発達支援事業(すくすく園)	発達上の問題や障害等が気になるお子さんへの基本的な生活習慣や社会生活への適応性を身につける療育を行うとともに、専門相談員による、お子さんの発達や心配ごとに関する相談も行っています。日進市からの指定管理事業です。国からの障害福祉サービス費を主な財源としています。
33	親子通園事業(あじさい教室)	1歳半健診で発達が気になるお子さんを対象に、早期の療育、支援を行う親子教室を行っています。日進市からの受託事業です。
34	障害者・障害児相談支援事業	障害のある方に関わる相談や障害福祉サービスの利用に関する相談支援等を行っています。日進市からの指定管理事業です。国からの障害福祉サービス費も財源としています。
35	点訳、音訳等の各種ボランティア養成事業	点訳や音訳などを通して障害者の支援にかかわる人材育成を行っています。日進市からの受託事業です。
36	「点訳福祉だより」「音訳福祉だより」の送付	ボランティアの協力のもと、本会が発行している『福祉だより』の点訳版、音訳版を発行しています。日進市からの指定管理事業です。
37	保育所等訪問支援事業	保育所や学校などでの集団生活への適応のために、専門的な支援を必要とする場合、専門的な知識を有するスタッフが訪問し支援を行います。日進市からの指定管理事業です。
38	チャレンジド夏祭り	障害のある子もいない子も楽しむことができ、地域で交流できる場として、夏祭りを開催しています。福祉事業所や学生ボランティアの協力をいただいています。日進市からの指定管理事業です。
39	発達支援講演会・セミナー	発達障害などの理解等を進めるため、講演会やセミナーを開催しています。日進市からの指定管理事業です。
40	福祉的就労説明会	障害のあるお子さんの保護者を対象に、就労に向けた将来をイメージするための説明会を開催しています。日進市からの指定管理事業です。
41	高校生等保護者向け就労系事業所見学バスツアー	障害のある高校生や特別支援学校に通う高等部のお子さんの保護者を対象に、地域の事業所の作業内容や職場環境等を見学し、進路選択の際の参考にしってもらうための事業所見学ツアーを実施しています。日進市からの指定管理事業です。
42	障害児通所サービス事業所交流会	市内の障害児通所支援事業所に呼びかけて、情報交換のための交流会を行っています。日進市からの指定管理事業です。
43	障害者自立支援協議会	障害のある人とない人が、ともに暮らすことのできるまちづくりを進めていくために、官民一体となって話し合い、課題の解決を目指しています。障害者差別解消、障害者虐待防止に関する講演会等も開催しています。日進市からの指定管理事業で、市との共催事業です。

問39 日進市社会福祉協議会の実施する地域福祉事業のうち、今後、さらに力を入れてほしい事業を、問38の表の中から10個以内で選び、その番号をご記入ください。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

問40 日進市社会福祉協議会の会員募集についておたずねします。

日進市社会福祉協議会では、毎年5月に会員募集を行い、社会福祉協議会の実施する地域福祉事業にご賛同いただける方々を「地域たすけあい活動応援団」と位置付けています。会員のみなさまからは一般会費 500 円、特別会費 1,000 円、法人会費 5,000 円の年会費をいただき、先ほど問38で記載した事業に充てさせていただきます。

この会費が日進市内の地域福祉事業に充てられていることをご存知でしたか。あてはまるもの1つに○をお付けください。

1. 会費が地域福祉事業に活用されていることを知っていた
2. 会費が地域福祉事業に活用されていることを知らなかった
3. 会員募集を行っていることを知らなかった

問41 問40の「会員募集」についてどのように思われますか。あてはまるもの1つに○をお付けください。

1. 安心して暮らせるまちづくりに協力する手段として、会員となって地域たすけあい活動を応援したい
2. どちらかと言えば、会費の使い道等が明確であれば、協力したい
3. 市民から会費を集めて地域たすけあい活動をする必要はない

最後に

問42 あなたは今の地域に住み続けたいですか。あてはまるもの1つに○をお付けください。

1. 住み続けたい
2. できれば住み続けたい
3. あまり住みたくない
4. 住みたくない

問43 あなたは現在いきがいをもってらすことができますか。あてはまるもの1つに○をお付けください。

1. いきがいがあり日々充実している
2. 少しいきがいを感じている
3. あまりいきがいを感じられない
4. まったくいきがいを感じられない

